

令和4年度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの業務などについて収録した。

目 次

1. 役員等	1
2. 評議員会・監査等	3
3. 地区・分区関係	4
4. 活動資金の収納状況	6
5. 国際活動	9
6. 災害救護事業等	10
7. 救急法・健康生活支援講習等の普及	20
8. 赤十字奉仕団等	32
9. 青少年赤十字（J R C）	53
10. 広報・普及活動	58
資料 令和4年度日本赤十字社秋田県支部歳入歳出決算概要	60
11. 医療事業	61
12. 血液事業	66
13. 乳児院の運営	72
資料 令和4年度秋田赤十字乳児院歳入歳出決算概要	74
14. 日本赤十字社秋田県支部現勢	75

1. 役員等

(令和5年3月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役職名	氏名
支部長	佐竹敬久
副支部長	神部秀行
	穂積志
監査委員	新谷明弘
	伊藤新
理事・代議員	野口良孝
代議員	三戸俊彦
	江畑佳明
	高橋トモ子

2. 評議員

地区別	氏名
鹿角市	石井勲
大館市	日景隆
	佐藤かよ子
北秋田市	津谷永光
能代市	齊藤滋宣
男鹿市	菅原広二
潟上市	鈴木雄大
秋田市	野口良孝
	黒崎義雄
	渡邊達夫
	加藤長二郎
	西野清
由利本荘市	湊貴信
	小松慶悦
にかほ市	佐藤耕一
大仙市	今野功成
	高橋トモ子
仙北市	田口知明
横手市	高橋大
	小野タヅ子
湯沢市	佐藤一夫
北	細越満
山本	堀内満也
中央	高橋浩人
南	備前博和
支部長選出	小玉喜久子
	三戸俊彦
	江畑佳明
	田口昇

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	所属奉仕団	選出区分
委員長	小玉喜久子	潟上市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	中嶋洋子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	
	佐竹睦子	秋田市赤十字奉仕団	
	高橋トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八代千春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委員	石川鋭子	能代市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	嶋田陽子	横手市赤十字奉仕団	
	佐藤明子	大館市大館赤十字奉仕団	
	吉田萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北村ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	阿部由理子	鹿角市赤十字奉仕団	
	土田典子	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	
	村上和美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	赤川和子	仙北市角館町赤十字奉仕団	
	小笠原シゲ子	小坂町赤十字奉仕団	
	森田葉子	八峰町峰浜赤十字奉仕団	
	佐藤操	八郎潟町赤十字奉仕団	
	鈴木キミコ	東成瀬村赤十字奉仕団	
	鈴木敦子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小野敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石川和男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
三森幹男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団		
田口昇	秋田県赤十字救急法奉仕団		
眞井田恭雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団		
三浦泰輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会長	

2. 評議員会・監査等

1. 評議員会

評議員会を次のとおり実施した。

(1) 第1回目

期 日 6月10日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席評議員 12人

報告事項

- ・令和3年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・令和3年度事業報告

審 議

- ・議案第1号 令和3年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算

監査報告

- ・議案第4号 監査委員の選出
- ※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。
- ※議案第4号、監査委員の選出については、伊藤 新氏が再選された。

(2) 第2回目

期 日 3月13日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席評議員 13人

報告事項

審 議

- ・議案第1号 令和4年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第2号 令和5年度事業計画
- ・議案第3号 令和5年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第4号 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第5号 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算
- ※議案第1号から議案第5号まで原案どおり承認された。

報告事項

- ・トルコ・シリア地震における赤十字の活動

2. 監査

(1) 監査委員監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5月27日	秋田県社会福祉会館 9階第4会議室	支部監査委員
病 院			
血液センター			
乳 児 院			

(2) 監査法人による実地監査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
支 部	12月21日、22日	支部研修室	公認会計士（3人）

3. 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(令和5年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名称	電話番号
秋田市	穂積 志	市長	福祉総務課	018-888-5661
能代市	齊藤 滋宣	市長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横手市	高橋 大	市長	社会福祉課	0182-35-2132
大館市	福原 淳嗣	市長	福祉課	0186-42-8100
男鹿市	菅原 広二	市長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯沢市	佐藤 一夫	市長	福祉課	0183-73-2122
鹿角市	関 厚	市長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	湊 貴信	市長	福祉支援課	0184-24-6315
潟上市	鈴木 雄大	市長	社会福祉課	018-853-5314
大仙市	老松 博行	市長	社会福祉課	0187-63-1111
北秋田市	津谷 永光	市長	福祉課	0186-62-6637
にかほ市	市川 雄次	市長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙北市	田口 知明	市長	社会福祉協議会	0187-54-2493
小坂町	細越 満	町長	福祉課	0186-29-3925
上小阿仁村	小林 悦次	村長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤里町	佐々木 文明	町長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三種町	田川 政幸	町長	福祉課	0185-85-2190
八峰町	堀内 満也	町長	福祉保健課	0185-76-4608
五城目町	渡邊 彦兵衛	町長	社会福祉協議会	018-852-5192
八郎潟町	畠山 菊夫	町長	社会福祉協議会	018-875-3871
井川町	齋藤 多聞	町長	社会福祉協議会	018-874-2611
大潟村	高橋 浩人	村長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美郷町	松田 知己	町長	福祉保健課	0187-84-4907
羽後町	安藤 豊	町長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東成瀬村	備前 博和	村長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	金 和久	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山本	吉田 浩二	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中央	深谷 裕宣	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	藤原 浄	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月14日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室（一部 Web 会議）

出席者数 40人（内 Web 参加15人）

議 題 等

- ・DVD「赤十字この1年」
- ・令和3年度事業報告
- ・令和4年度事業計画
- ・赤十字会員増強運動について

(2) 新任事務担当者研修会

期 日 8月24日

会 場 秋田県社会福祉会館 8階合同研修室

出席者数 17人

(3) 事業実態調査

期 日 10月～11月

対 象 横手市地区、湯沢市地区、大仙市地区、仙北市地区、美郷町分区
羽後町分区、東成瀬村分区

会 場 各地区・分区

4. 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		3年度実績 人	4年度実績 人	増 減 人	3年度実績 円	4年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	18,665	17,739	△ 926	23,758,235	23,407,799	△ 350,436
2	能 代 市	4,700	5,022	322	5,852,450	5,715,840	△ 136,610
3	横 手 市	13,252	12,522	△ 730	12,775,470	12,481,010	△ 294,460
4	大 館 市	8,436	7,838	△ 598	6,869,175	6,696,975	△ 172,200
5	男 鹿 市	8,416	8,420	4	5,825,400	5,819,050	△ 6,350
6	湯 沢 市	12,972	12,684	△ 288	6,510,418	6,352,275	△ 158,143
7	鹿 角 市	8,187	8,143	△ 44	4,364,000	4,327,100	△ 36,900
8	由利本荘市	18,587	18,181	△ 406	13,669,962	13,535,310	△ 134,652
9	潟 上 市	3,144	2,691	△ 453	3,905,200	3,845,200	△ 60,000
10	大 仙 市	18,048	17,327	△ 721	13,615,190	13,275,506	△ 339,684
11	北秋田市	8,033	7,857	△ 176	6,378,900	6,241,600	△ 137,300
12	にかほ市	6,996	6,169	△ 827	4,945,650	4,972,000	26,350
13	仙 北 市	6,644	6,496	△ 148	5,232,756	5,079,559	△ 153,197
14	小 坂 町	1,750	1,739	△ 11	1,148,000	1,146,400	△ 1,600
15	上小阿仁村	645	622	△ 23	516,600	496,000	△ 20,600
16	藤 里 町	1,038	1,022	△ 16	765,300	752,800	△ 12,500
17	三 種 町	3,358	3,399	41	2,966,600	2,976,400	9,800
18	八 峰 町	2,417	2,378	△ 39	1,688,600	1,652,700	△ 35,900
19	五城目町	2,730	2,784	54	2,277,100	2,265,400	△ 11,700
20	八郎潟町	1,829	1,761	△ 68	1,393,400	1,344,400	△ 49,000
21	井 川 町	1,283	1,255	△ 28	940,000	917,300	△ 22,700
22	大 潟 村	821	820	△ 1	704,000	594,200	△ 109,800
23	美 郷 町	4,725	4,665	△ 60	4,682,200	4,617,910	△ 64,290
24	羽 後 町	3,956	4,089	133	2,706,980	2,670,480	△ 36,500
25	東成瀬村	727	709	△ 18	712,250	698,550	△ 13,700
	計	161,359	156,332	△ 5,027	134,203,836	131,881,764	△ 2,322,072
	支 部 扱	1,223	1,158	△ 65	15,298,239	13,025,775	△ 2,272,464
	総 計	162,582	157,490	△ 5,092	149,502,075	144,907,539	△ 4,594,536

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区分	会員数等			寄付 件数 件	活動資金額				平均会費額 (E/B)円
	目標会員数(A) 人	4年度実績(B) 人	千円以上 会員実績(C) 人		C/B %	目標額(D) 円	会費(E) 円	寄付金(F) 円	
1 秋田市	17,360	17,739	3,652	21%	24,147,600	13,982,735	9,425,064	23,407,799	788
2 能代市	5,525	5,022	160	3%	6,097,400	2,769,550	2,946,290	5,715,840	551
3 横手市	14,022	12,522	2,026	16%	13,001,500	8,859,700	3,621,310	12,481,010	708
4 大館市	9,000	7,838	766	10%	7,315,600	4,611,300	2,085,675	6,696,975	588
5 男鹿市	8,633	8,420	748	9%	6,113,100	5,818,400	650	5,819,050	691
6 湯沢市	12,390	12,684	1	0%	6,414,700	6,352,275	0	6,352,275	501
7 鹿角市	8,188	8,143	400	5%	4,466,200	4,321,900	5,200	4,327,100	531
8 由利本荘市	18,853	18,181	1,771	10%	13,897,900	13,193,200	342,110	13,535,310	726
9 潟上市	3,387	2,691	97	4%	4,087,800	1,525,800	2,319,400	3,845,200	567
10 大仙市	18,770	17,327	5,968	34%	14,002,300	13,135,250	140,256	13,275,506	758
11 北秋田市	8,500	7,857	3,105	40%	6,490,700	6,228,600	13,000	6,241,600	793
12 にかほ市	7,150	6,169	12	0%	5,078,200	4,283,900	688,100	4,972,000	694
13 仙北市	6,742	6,496	2,813	43%	5,368,800	5,054,402	25,157	5,079,559	778
14 小坂町	1,833	1,739	60	3%	1,182,100	1,132,300	14,100	1,146,400	651
15 上小阿仁村	649	622	219	35%	543,900	496,000	0	496,000	797
16 藤里町	1,030	1,022	110	11%	786,000	752,800	0	752,800	737
17 三種町	3,624	3,399	2,129	63%	3,210,900	2,976,100	300	2,976,400	876
18 八峰町	2,470	2,378	3	0%	1,726,900	1,652,700	0	1,652,700	695
19 五城目町	2,882	2,784	13	0%	2,305,100	2,239,400	26,000	2,265,400	804
20 八郎潟町	1,847	1,761	89	5%	1,422,500	1,344,400	0	1,344,400	763
21 井川町	1,300	1,255	184	15%	932,500	917,000	300	917,300	731
22 大潟村	811	820	36	4%	592,000	594,200	0	594,200	725
23 美郷町	4,781	4,665	4,505	97%	4,745,100	4,609,610	8,300	4,617,910	988
24 羽後町	4,100	4,089	0	0%	2,794,300	2,670,480	0	2,670,480	653
25 東成瀬村	730	709	619	87%	724,300	698,550	0	698,550	985
計	164,577	156,332	29,486	19%	137,447,400	110,220,552	21,661,212	131,881,764	705
支部扱	0	1,158	883	76%	0	5,755,722	7,270,053	13,025,775	4,970
総計	164,577	157,490	30,369	19%	137,447,400	115,976,274	28,931,265	144,907,539	736

2. 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
664	19,903,698	100万円以上	0	0.00
		50万円以上	6	0.90
		20万円以上	9	1.36
		10万円以上	11	1.66
		5万円以上	18	2.71
		3万円以上	281	42.32
		1万円以上	288	43.37
		1万円未満	51	7.68

3. 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	会員数 人	前年度比 %
30	149,570,605	91.5	175,181	98.1
元	151,465,193	101.2	169,182	96.5
2	153,249,956	101	163,645	96.7
3	149,502,075	97.5	162,582	99.3
4	144,907,539	96.9	157,490	96.8

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	法人数 社	前年度比 %
30	20,158,857	101.2	699	114.6
元	20,926,342	103.8	746	106.7
2	18,627,171	89	678	90.8
3	23,489,749	126.1	624	92.0
4	19,903,698	84.7	664	106.4

5. 国際活動

1. 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している国に対する「救急法普及支援事業」並びに学校等における衛生環境改善や災害リスク軽減のニーズが高い国に対する「青少年赤十字海外支援事業」を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

(1)資金援助協力の状況

ラオス 救急法普及支援事業 秋田県支部負担 279,000円
 (※日赤第1ブロック全体で 3,000,000円を支援)

バヌアツ 青少年赤十字海外支援事業 秋田県支部負担 279,000円
 (※日赤第1ブロック全体で 3,000,000円を支援)

秋田県支部負担計 558,000円

(※日赤第1ブロック全体で 6,000,000円を支援)

2. 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金を呼び掛けた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 30団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 668,774円

3. 海外救援金の受付状況

(令和5年3月31日現在)

名 称	件数 (件)	金額 (円)
バングラデシュ南部避難民救援金	1	6,236
中東人道危機救援金	1	6,236
アフガニスタン人道危機救援金	2	15,846
ウクライナ人道危機救援金	245	18,281,187
2022年アフガニスタン地震救援金	3	51,618
2022年パキスタン洪水救援金	5	54,780
2023年トルコ・シリア地震救援金	176	5,405,654
NHK海外たすけあいキャンペーン	160	1,242,358
計	593	25,063,915

6. 災害救護事業等

1. 災害救護活動

(1) 令和4年8月3日からの大雨災害救護活動の実施状況

ア 大雨の概況

3日から15日にかけて、前線が日本海から北日本に停滞し、前線に向かって高気圧の縁辺を回る暖かく湿った空気が流れ込み続けたため、大気の非常に不安定な状態が続いた。県の北部を中心に、総降水量が400ミリを超える大雨となり、脇神、八森、大館など9地点で、72時間降水量が観測史上1位を更新した。

10日昼前には男鹿市付近で猛烈な雨が解析され、男鹿真山では1時間降水量が観測史上1位を更新、12日夜遅くから13日未明にかけては、記録的短時間大雨情報（鹿角市北部付近で約100ミリ）を発表するなど北秋田市、上小阿仁村、鹿角市付近で猛烈な雨が解析され、五城目では1時間降水量が観測史上1位を更新した。

イ 被害状況（消防庁情報：令和4年11月1日現在）

- ・人的被害 なし
- ・建物被害

区 分	住家被害			
	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水
	棟	棟	棟	棟
秋田県計	3	6	122	331

ウ 秋田県支部の対応

- ・避難所調査要員派遣及び救援物資輸送・配布

派遣先	派遣期日	派遣人員	活動内容
藤里町	8月10日	支部職員2人	避難所状況調査 タオルケット 20枚配布 緊急セット 12個配布 安眠セット 21セット配布
八峰町	8月10日	支部職員2人	避難所状況調査 タオルケット 10枚配布
能代市	8月10日	支部職員2人	避難所状況調査 タオルケット 20枚配布
男鹿市	8月10日	支部職員2人	避難所状況調査 タオルケット 40枚配布

(2) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和5年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	4	3	110,000
能 代 市	7	2	40,000
横 手 市	1	2	60,000
大 館 市	5	2	20,000
男 鹿 市	—	—	10,000
湯 沢 市	3	1	30,000
鹿 角 市	—	—	220,000
由 利 本 荘 市	19	8	110,000
潟 上 市	1	1	20,000
大 仙 市	14	7	140,000
北 秋 田 市	13	6	120,000
に か ほ 市	—	—	40,000
仙 北 市	6	2	40,000
小 坂 町	—	—	—
上 小 阿 仁 村	2	1	80,000
藤 里 町	—	—	—
三 種 町	—	9	90,000
八 峰 町	—	—	—
五 城 目 町	—	—	360,000
八 郎 潟 町	—	—	—
井 川 町	—	—	10,000
大 潟 村	1	1	20,000
美 郷 町	12	4	70,000
羽 後 町	6	4	80,000
東 成 瀬 村	4	4	—
計	98	57	1,670,000

2. 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓練名	期日	場所	主催者	赤十字関係参加人員	
				人数	内訳
第1ブロック支部 4県合同災害救援 物資輸送訓練	5月24日	岩手県 盛岡市	日赤宮城県支部	3	支部2、 防災Vリーダー1
令和4年度日本赤十字社 原子力災害対応基礎研修 会基礎研修会	7月23日 ～24日	福島県 福島市	日本赤十字社 本社	1	コーディネーター1
秋田県総合防災訓練	8月28日	秋田市	秋田県 秋田市	21	支部3、奉仕団15 防災Vリーダー3
秋田県国民保護共同 実働・図上訓練	11月17日	秋田市 大仙市	内閣府 秋田県 大仙市 横手市	8	支部2、病院6
令和4年度日赤災害 医療コーディネート 研修会	1月21日 ～22日	東京都 港区	日本赤十字社 本社	1	薬剤師1
厳冬期避難所展開・ 宿泊演習2023	1月21日 ～22日	北海道 北見市	日本赤十字北海 道看護大学災害 対策教育センター	1	支部1
第1ブロック支部 日赤災害医療コディ ネーター連絡会	2月21日	WEB	北海道・東北の 道県支部	2	コーディネーター1、 支部1

3. 「赤十字防災セミナー」の実施状況

(1) 災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。

内容

- ① 赤十字と災害救護について
- ② 災害時のマメ知識
- ③ 非常炊き出し実習
- ④ 救急法等
- ⑤ 避難所で役立つ知識と技術
- ⑥ 災害エスノグラフィ
- ⑦ DIG（災害図上訓練）

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 者
秋 田 市	6月18日	大住地区自主防災連絡協議会	一 般	40	1.5	(支)碓谷
	8月2日	秋田県青少年赤十字指導者協議会	児童・生徒	15	1	(支)碓谷
	8月31日	秋田市教育委員会	一 般	6	1	(支)菊地
	10月2日	御野場新町四丁目町内会	一 般	21	1	(支)碓谷
	10月27日	全日本年金者組合秋田市支部	一 般	21	1	(支)碓谷
	1月17日	秋田県立新屋高等学校	一 般	33	1	(支)碓谷・菊地
	2月15日	新屋地区社会福祉協議会	一 般	20	1.5	(支)碓谷
	3月25日	新藤田町内会	一 般	17	2	(支)碓谷
能 代 市	8月1日	ボランティアスクール	一 般	14	2	(支)碓谷
	9月29日	能代市二ツ井総合福祉センター	一 般	18	1.5	(※)竹内
	3月3日	能代市社会福祉協議会	一 般	17	2	(支)碓谷、(※)八代
男 鹿 市	9月4日	羽立駅前町内会	一 般	15	1.5	(支)碓谷
由利本荘市	11月28日	由利本荘市食生活改善推進協議会	一 般	14	1	(支)碓谷
	3月26日	地域づくり推進事業 ユニコムぼうさい秋田	一 般	29	1.5	(病)今野
大 仙 市	2月28日	半仙自治会	一 般	37	1.5	(支)碓谷
八 峰 町	10月18日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	一 般	22	2	(支)碓谷
八 郎 潟 町	9月22日	八郎潟町農村環境改善センター	一 般	29	1.5	(支)碓谷
計		17回		368	24.5	

(2) 指導者養成講習会の開催状況

期 日	2月24日～25日
会 場	秋田県社会福祉会館 第3会議室
主任指導者	日赤秋田県支部 事業推進課 菊地雄大
受講者数	12人(男6人、女6人)
合格者数	12人(男6人、女6人)

4. 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

配置台数	3台
車 種	日産デイズ（軽四輪自動車）
配置地区・分区	湯沢市、大仙市、上小阿仁村
累 計	100台（平成15年度～）

5. 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 移動炊飯器

配置台数	1台
配置地区・分区	横手市
累計	92台（平成20年度～）

(2) A E D（自動体外式除細動器）

配置台数	5台
配置地区・分区	能代市、横手市、由利本荘市、大仙市、藤里町
累計	135台（平成20年度～）

(3) 発電機

配置台数	5台
配置地区・分区	潟上市、大仙市、横手市、湯沢市、上小阿仁村
累計	74台（平成26年度～）

(4) ワンタッチテント

配置張数	3張
配置地区・分区	由利本荘市、大仙市、東成瀬村
累計	67張（平成28年度～）

(5) 救護資器材倉庫（新規）

配置棟数	2棟
配置地区・分区	八郎潟町、藤里町
累計	2棟（令和4年度～）

(6) 避難所用防災テント（新規）

配置張数	97張
配置地区・分区	北秋田市、男鹿市、由利本荘市（60）、大仙市 横手市（20）、小坂町（10）、美郷町（3）、大潟村

累 計 97張（令和4年度～）

(7) 車イス（新規）

配 置 台 数 3台

配置地区・分区 横手市（3）

累 計 3台（令和4年度～）

6. 救護資器材の整備

- ・業務用無線機（車載無線機3機）更新整備
- ・災害救援物資「安眠セット」282セット 購入
- ・救護員作業衣等（作業ブーツ17、ベスト7）購入
- ・蓄電池（大2、小3）整備

7. 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和5年3月31日現在）

施設別	人 数（人）		
	災害対策本部要員	救護班要員	血液供給要員
支 部	8	—	—
病 院	13	67	—
血液センター	2	—	3
計	23	67	3

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり

内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 3人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 10人

(2) 救護班の編成状況

（令和5年3月31日現在）

常置施設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病 院	9	67	医 師 9 看護師長 9 看護師 18 主事 20 薬剤師 9 助産師 2

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

(令和5年3月31日現在)

施設別	人数(人)	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	0	4
病院	10	115
血液センター	0	1
乳児院	0	1
看護大学・短大	1	0
計	11	121

(4) 日本DMAT隊員の登録状況

(令和5年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別要員数(人)
病院	28	医師 7 看護師 11 業務調整員 10

8. 防災ボランティア登録状況

(令和5年3月31日現在)

区分	登録団体数	男女別数(人)		計(人)
		男	女	
団体	1	82	4	86
		男	女	
個人	—	20	12	32
		男	女	
防災ボランティア・リーダー	—	7	1	8
		男	女	
計	1	109	17	126
		男	女	

9. 救護資器材の主な装備状況

(令和5年3月31日現在)

資器材名	数量	備考
150MHZ帯業務用無線機	33	基地局1、移動局23、携帯用9（血液センターを含む）
400MHZ帯業務用無線機	24	基地局1、移動局9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用（内、携帯用2）
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	車載1、可搬型2
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	7	ガソリン燃料7、LPガス燃料3
投光器	2	
担架	15	
折りたたみ寝台	31	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	2	病院
災害救援車	6	支部
エアーテント	1	
組立てトイレ	47	
組立てトランク型自動ラップ式トイレ式	10	消耗品セット、バッテリー、テント含む
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	

医療セット置き台	1	
ノートパソコン	1	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4色（黒・赤・黄・緑）×2組
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	ドラッシュテント
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	
避難所用防災テント	103	
蓄電池	5	大 2、小 3

10. 救援物資の備蓄状況

品名	数量
毛布	2,070枚
タオルケット	1,808枚
緊急セット	1,374個
安眠セット	721個

11. 救護看護師の養成等

- (1) 「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された3年目の看護師を対象に5日間の研修を実施した。（修了者20人）
- (2) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学在校生112人（看護学科102人、介護福祉学科10人）に対し、救急法等講習教材（救急法等講習教本、教材セット）を贈呈した。

12. 義援金の受付状況

(令和5年3月31日現在)

名 称	件数 (件)	金額 (円)
平成30年7月豪雨災害義援金	2	3,592
令和2年7月豪雨災害義援金	11	73,169
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	25	176,849
令和4年7月大雨災害義援金	6	70,525
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	37	556,785
令和4年台風第15号災害義援金	13	519,362
計	94	1,400,282

7. 救急法・健康生活支援講習等の普及

1. 総括表

	講習名称	回数 (回)	受講者数 (人)	資格修得者数 (人)
救急法	基礎講習	22	412	412
	救急員養成講習	13	445	441
	短期講習	92	2,207	
	計	127	3,064	853
健康生活支援講習	支援員養成講習	3	65	58
	災害時高齢者生活支援講習	10	322	
	短期講習	48	1,315	
	計	61	1,702	
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	0	0	0
	短期講習	20	528	
	計	20	528	0
幼児安全法	支援員養成講習	4	129	129
	短期講習	24	327	
	計	28	456	
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	24	24
	短期講習	0	0	
	計	1	24	24
総計		237	5,774	877

2. 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格取得者数
秋田市	4月8日	秋田リハビリテーション学院 (WEB)	学 生	42	1	(※)長谷川	
	4月13日	秋田県労働基準協会	一 般	68	2.5	※別記1のとおり	
	4月17日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一	
	4月19日 ~20日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	53	12	(○)荻原・新沼	53
	4月27日	秋田県林業研究研修センター	研修生及び職員	15	4	(☑)碓谷、(※)竹内	
	5月16日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	24	4	(☑)碓谷、(※)佐々木	
	5月25日	秋田県看護協会	看 護 師	10	2	(☑)碓谷	
	5月31日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	53	7	(☑)碓谷、(○)竹澤 (○)荻原・新沼	
	6月2日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	54	7	(☑)碓谷、(○)荻原・新沼	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6月4日	日赤秋田県支部	一 般	11	4	(☑) 碓谷、 (☑) 竹内・長内・岡部	
	6月7日 ～8日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	58	12	(☑) 碓谷、(☑) 清水、 (☑) 荻原・新沼、(☑) 竹内	58
	6月9日 ～10日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	52	12	(☑) 碓谷、(☑) 竹澤・石井 (☑) 荻原・新沼	52
	6月9日	秋田県立秋田北高等学校 (WEB)	生 徒	240	1	(☑) 菊地	
	6月15日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	16	1	(☑) 碓谷、(☑) 竹内	
	6月16日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	15	1	(☑) 碓谷、(☑) 伊藤三	
	6月17日	秋田県労働基準協会	一 般	78	2.5	※別記2のとおり	
	6月22日	秋田赤十字病院	職 員	20	4	(☑) 今野・清水	
	6月23日	秋田市立大住小学校	教 職 員	35	1	(☑) 碓谷、(☑) 竹内	
	6月23日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(☑) 伊藤一	
	6月23日 ～24日	秋田赤十字病院	職 員	19	10	※別記3のとおり	19
	7月4日	秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校	生 徒	19	1.5	(☑) 碓谷・川上	
	7月6日	株式会社佐藤電機工業所	従 業 員	8	4	(☑) 竹澤	
	7月12日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	12	2	(☑) 碓谷、(☑) 竹内	
	7月12日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	12	2	(☑) 碓谷、(☑) 竹内	
	7月19日 7月22日	秋田県警察学校	警 察 官	39	6	(☑) 小西・中川	
	7月27日 ～29日	秋田県警察学校	警 察 官	38	10	(☑) 小西・中川	38
	8月2日	日本赤十字社秋田県支部 (WEB)	児 童 ・ 生 徒	15	1	(☑) 碓谷	
	8月3日	株式会社佐藤電機工業所	従 業 員	7	4	(☑) 碓谷	
	8月17日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(☑) 伊藤一	
	8月20日	千代田興業株式会社	従 業 員	16	1	(☑) 竹内・板倉	
	8月31日	秋田市教育委員会生涯学習室	一 般	6	0.5	(☑) 菊地	
	9月3日	日赤秋田県支部	一 般	16	4	(☑) 菊地、(☑) 竹内	
	9月7日	株式会社佐藤電機工業所	従 業 員	8	4	(☑) 碓谷	
	9月11日	秋田赤十字病院	職 員	5	4	(☑) 菊地、(☑) 石井	
	9月15日 ～16日 21日	日本赤十字秋田看護大学	学 生	50	10	(☑) 碓谷・鎌田・川上、 (☑) 竹澤、(☑) 荻野・新沼	50
	9月16日	秋田県赤十字血液センター	職 員	1	4	(☑) 若林	
	9月18日 ～19日	秋田赤十字病院	職 員	7	10	(☑) 竹澤・石井・伊藤・藤原	7
	10月1日	秋田県視覚障害者福祉協会	協 会 会 員	10	1.5	(☑) 菊地	
	10月1日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(☑) 伊藤一	
10月5日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	6	1	(☑) 伊藤一		
10月12日	秋田県看護協会	看 護 師	12	2	(☑) 碓谷		
10月15日	特定非営利活動法人秋田県防災士会	会 員	20	3	(☑) 竹内・田口・渡辺・板倉		
10月18日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(☑) 伊藤一		

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格 取得者数
秋田市	10月23日	厚生ビル管理㈱	警備員	2	1	(※)伊藤一	
	10月24日 ～27日	秋田県警察学校	警察官	21	6	(※)小西・中川	
	10月26日	株式会社 ALL-A	一般	5	1	(※)碓谷	
	11月6日	秋田赤十字乳児院 (WEB)	一般	26	1	(※)菊地、(調)水澤	
	11月7日 ～11日	秋田県警察学校	警察官	21	10	(※)小西・中川	21
	11月10日	秋田県労働基準協会	一般	38	3	(※)碓谷・菊地、(調)竹澤、 (※)竹内	
	11月10日	秋田県労働基準協会	一般	40	3	(※)碓谷・菊地、(調)竹澤、 (※)竹内	
	11月16日	秋田リハビリテーション学院	学生	40	5	(※)碓谷・菊地	
	11月17日 ～18日	秋田リハビリテーション学院	学生	40	12	(※)碓谷・鎌田、 (※)竹内	40
	11月29日	秋田南高等学校・中等部	教職員	16	1	(※)竹内・長谷川	
	12月3日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一般	11	4	(※)田口・竹内・松淵・岡部 佐々木靖・板倉・畠山	
	12月16日	秋田県労働基準協会	酸欠特別教育 講習受講者	41	2	(※)碓谷	
	12月18日	秋田県水泳連盟	スポーツ指導員(水泳)・ 基礎水泳指導員	31	1.5	(※)佐々木靖・板倉	
	1月11日	秋田県立歯科医療専門学校	専門学生	34	6	(※)碓谷・淡路	
	1月12日 3月16日 ～17日	秋田県立歯科医療専門学校	専門学生	38	15	(※)碓谷・菊地・鎌田	34
	1月17日	秋田県立新屋高等学校	生徒	33	1	(※)碓谷・菊地	
	2月2日	秋田市立飯島南小学校	児童	78	1	(※)碓谷・菊地	
	2月9日	秋田県労働基準協会	一般	39	3	(※)碓谷・高橋、 (※)竹内・渡辺	
	2月9日	秋田県労働基準協会	一般	38	3	(※)碓谷・菊地、 (※)竹内・渡辺	
	2月13日 ～14日	日本赤十字秋田看護大学	学生	51	10	(※)菊地、(調)石井・加賀谷 (調)荻野・新沼	51
	2月16日	秋田県看護協会	看護師	19	2	(※)碓谷	
	2月17日	日本赤十字秋田短期大学	短大生	10	4	(※)菊地・淡路	
	2月20日 ～21日	日本赤十字秋田短期大学	短大生	9	10	(※)碓谷・菊地・平尾 (調)榊田・今野・竹澤	9
	3月4日	日赤秋田県支部	一般	10	4	(※)田口・竹内・板倉	
	3月10日	聖霊女子短期大学付属高等学校	生徒	68	1	(※)碓谷、(※)伊藤三	
	3月10日	聖霊女子短期大学付属高等学校	生徒	72	1	(※)碓谷、(※)伊藤三	
	3月14日	秋田県労働基準協会	一般	40	2.5	(※)碓谷・菊地、(調)伊藤、 (※)竹内	
	3月14日	秋田県労働基準協会	一般	37	2.5	(※)碓谷・菊地、(調)伊藤、 (※)竹内	
	3月25日	新藤田町内会	一般	17	1	(※)八代	
	能代市	7月1日	能代市立第四小学校	児童	83	1	(※)碓谷、(※)佐藤勇・梅田 (※)大塚・秋山里
7月1日		能代市立第四小学校	教職員	22	1	(※)碓谷、(※)佐藤勇	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
能 代 市	9月8日	(株)ナカムラ	従 業 員	11	1	(関) 碓谷	
	9月14日	能代市立能代第二中学校	生 徒	86	1	(関) 碓谷、(関) 佐藤勇・柴田 (関) 大塚・秋山里	
	9月29日	能代市社会福祉協議会	一 般	18	0.5	(関) 竹内	
	10月7日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(関) 伊藤一	
	10月8日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
横 手 市	10月4日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(関) 伊藤一	
	12月8日	秋田県立雄物川高等学校	生 徒	50	2	(関) 碓谷、(関) 高橋邦・高橋文	
	2月3日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
大 館 市	7月1日	株式会社沓澤製材所	役員・従業員	53	1	(関) 糸屋幸	
男 鹿 市	9月4日	羽立駅前町内会	一 般	15	0.5	(関) 碓谷	
湯 沢 市	8月22日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	9	4	(関) 碓谷、(関) 高橋邦・高橋里	
	8月23日 ～24日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	9	12	(関) 碓谷、(関) 高橋文	9
	8月25日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
	10月21日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(関) 伊藤一	
	11月3日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
	12月1日	湯沢市教育委員会	稲川スキー場 業 務 従 事 者	19	2	(関) 碓谷、(関) 高橋文	
	1月31日	秋ノ宮地域都市農村共生対流推進協議会	従 業 員	10	2	(関) 菊地	
鹿 角 市	6月16日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
	10月14日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(関) 伊藤一	
由利本荘市	4月18日	由利本荘市立本荘北中学校	生徒及び教職員	40	1	(関) 碓谷、(関) 佐藤美子	
	8月22日	秋田県立由利高等学校	教 職 員	30	1	(関) 須藤、(関) 佐々木弘	
	9月21日	秋田県立ゆり支援学校	教 職 員	15	1	(関) 菊地	
	9月26日	秋田県立ゆり支援学校	教 職 員	13	1	(関) 碓谷	
	9月27日	秋田県立ゆり支援学校	教 職 員	13	1	(関) 碓谷	
	9月29日	鳥海山・飛鳥ジオパークガイドの会	会 員	13	2	(関) 碓谷、(関) 佐藤美子	
	10月6日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
	11月9日	社会福祉法人久盛会 あまさぎ園	介 護 職 員	13	2	(関) 竹内・佐々木弘	
	11月25日	由利本荘市食生活改善推進協議会	食生活改善 推進協議会 大内支 部 会 員	14	1	(関) 碓谷	
	3月24日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(関) 伊藤一	
潟 上 市	7月13日	アポロキューサービス株式会社	介 護 職 員	9	1	(関) 竹澤、(関) 齋藤	
	8月31日	潟上市立東湖小学校	小 学 生	26	1	(関) 松橋、(関) 畠山・伊藤三	
大 仙 市	4月4日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(関) 伊藤一	
	6月2日	県立リハビリテーション・精神医療センター	職 員	7	1.5	(関) 長谷川	
	6月28日	秋田県立大曲農業高等学校太田分校	生 徒	38	2	(関) 碓谷、 (関) 高橋邦・高橋文・佐野	
	10月2日	大仙市大綱交流館	一 般 親 子	26	1	(関) 糸屋幸	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
大 仙 市	10月3日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(※)伊藤一	
	10月22日	秋田県	一 般	42	5	(※)竹内・田口・渡辺・高橋邦	
	10月23日	秋田県	一 般	56	6.5	(※)竹内・田口・高橋文・高橋邦	
	3月27日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一	
北秋田市	10月8日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	9	4	(※)碓谷、(※)柴田・佐藤勇 (※)糸屋幸・長内・富樫善・糸屋賢	
	10月12日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一	
	2月8日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一	
にかほ市	9月5日	にかほ市象潟B&G海洋センター	プ ール 監視員	14	2	(※)碓谷	
三 種 町	9月1日	三種町立琴丘小学校	児 童	14	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚	
	9月1日	三種町立琴丘小学校	児 童	17	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚	
	9月1日	三種町立琴丘小学校	児 童	22	1	(※)碓谷、 (※)糸屋幸・糸屋賢・大塚	
八郎潟町	10月13日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一	
大 潟 村	7月7日	大潟村立大潟中学校	生徒・教職員	33	1	(※)碓谷、(※)佐々木	
	11月12日	大潟村	一 般	13	0.5	(※)碓谷	
美 郷 町	5月12日	特別養護老人ホーム ロートピア緑泉	職 員	34	1	(※)高橋邦	
	9月9日	日赤美郷町分区	奉 仕 団 員	12	2	(※)碓谷、 (※)佐藤美・高橋文・藤田	
	11月6日	美郷町商工観光課	一 般	7	4	(※)竹内・梅田・高橋文	
羽 後 町	3月13日	救急法指導員	ノルディックウォーキングさくらの会	15	2	(※)高橋里	
計		127回		3,064	378.5		441

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救急法養成講習（10時間）を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点からオンライン講習の実施。(WEB)と記入。

※別記1 (支)稲岡・碓谷・鎌田・菊地 (病)石井 (乳)佐々木・松橋 (※)竹内

※別記2 (支)碓谷・鎌田 (病)藤原・竹澤・石井 (※)竹内・八代

※別記3 (病)今野・伊藤成・藤原・井上・竹澤・清水

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 4月23日

会 場 秋田県社会福祉会館 2階展示ホール

参加者数 78人（参集 41人、web参加 37人）

研修内容

- ・赤十字救急法基礎講習教本（第7版）の改定内容について
- ・赤十字救急法講習教本（第15版）の改定内容について

(3) 指導員養成講習会の実施

内 容	期 日	会 場
事前研修会	9月18日～19日	秋田赤十字病院（多目的ホール）
本講習	10月8日～10日・15日～16日	日赤秋田県支部（研修室）
新任指導員研修会	12月16日	秋田県社会福祉会館 9階第2会議室

- ・講師 秋田赤十字病院 社会係長 竹澤雄基
- ・受講者数 6人（男 5人、女 1人）
- ・合格者数 6人（男 5人、女 1人）

3. 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月19日	株式会社コンダクター	一 般	11	1.5	(変)稲岡	
	4月25日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	3	(変)稲岡	
	5月9日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	36	3	(変)稲岡	
	5月19日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	1.5	(変)稲岡	
	5月20日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	1.5	(変)稲岡	
	6月3日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	4	(変)稲岡	
	6月10日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	38	4	(変)稲岡	
	6月17日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	37	4	(変)稲岡・(特)菅原	
	6月23日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	37	3	(変)稲岡	
	6月28日	横手市社会福祉協議会 増田福祉センター	一 般	7	1	(特)菅原・新野	
	7月12日 7月14日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	27	12	(変)稲岡 (大)佐藤	27
	7月16日	秋田市社会福祉協議会 新屋地区社会福祉協議会	一 般	53	1	(変)稲岡	
	7月26日	(株) ALL-A	一 般	5	1	(特)高橋	
	7月27日 1月31日	日本赤十字秋田看護大学 (7/27WEB)	大 学 生	26	12	(変)稲岡・(大)佐藤	21
	8月6日	秋田長生大学	一 般	37	1	(変)稲岡	
	8月23日 8月24日	日本赤十字秋田短期大学 (8/23WEB)	短 大 生	12	12	(変)稲岡・(大)佐藤	10
	8月25日	(株) ALL-A	一 般	5	1	(変)稲岡	
	9月20日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	37	1.5	(変)稲岡	
9月28日	(株) ALL-A	一 般	8	1	(特)高橋		
11月14日	泉高齢者生活支援女性交流会 昼食サロン	一 般	21	1	(特)一関		

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格 取得者数
秋田市	11月18日	秋田市西部市民サービスセンター	一般	49	1.5	(改)稲岡	
	11月22日	(株)ALL-A	一般	5	1	(改)稲岡	
	11月28日	秋田市飯島サンパーク町内会	一般	28	1	(改)稲岡	
	12月4日	秋田市相染7区公民館	一般	11	1	(改)稲岡	
	12月12日	秋田市赤十字奉仕団	奉仕団員	46	1	(改)稲岡	
	12月16日	秋田市西部市民サービスセンター	一般	30	1.5	(改)稲岡	
	12月22日	(株)ALL-A	一般	5	1	(改)高橋	
	1月13日	秋田市赤十字奉仕団	奉仕団員	14	1	(改)稲岡	
	1月21日	日赤秋田県支部	奉仕団員 一般	70	1	(改)稲岡	
	2月7日	睦月の会	奉仕団員 一般	48	1.5	(改)稲岡・(改)高橋	
	2月22日	(株)ALL-A	一般	5	1	(改)高橋・新野	
	3月2日	秋田県歯科医療専門学校	専門学生	42	3	(改)稲岡	
	3月6日	手話サークルたんぽぽ	一般	10	1.5	(改)稲岡 (改)高橋・新野	
	3月22日	(株)ALL-A	一般	7	1	(改)稲岡	
能代市	11月14日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	奉仕団員	98	1.5	(改)稲岡	
	12月7日	能代市社会福祉協議会	奉仕団員 一般	26	1.5	(改)稲岡	
	3月8日	能代市赤十字奉仕団	奉仕団員	29	1.5	(改)稲岡 (改)高橋・新野	
横手市	11月7日	日赤横手市地区	奉仕団員	36	1	(改)稲岡	
	11月11日	日赤横手市地区大雄分区長	奉仕団員	33	1	(改)稲岡	
	12月6日	横手市境町婦人会	奉仕団員 一般	23	1	(改)稲岡	
男鹿市	10月4日	男鹿市社会福祉協議会	一般	25	1.5	(改)稲岡	
	10月6日	男鹿市社会福祉協議会	一般	17	1	(改)稲岡	
由利本荘市	10月27日	日赤由利本荘市地区鳥海分区	奉仕団員	17	1	(改)稲岡	
	2月27日	由利本荘市婦人団体連絡協議会	奉仕団員 一般	28	1	(改)稲岡	
大仙市	11月17日	日赤大仙市地区仙北分区長	奉仕団員 一般	19	1	(改)若林	
にかほ市	11月15日	浜の町いきいきサロン	奉仕団員 一般	17	1	(改)稲岡	
仙北市	9月15日	仙北市角館町赤十字奉仕団	奉仕団員	25	1.5	(改)稲岡	
三種町	9月8日	三種町山本赤十字奉仕団	奉仕団員	18	1.5	(改)稲岡	
八峰町	10月11日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉仕団員	21	1.5	(改)稲岡	
	6月21日	日赤羽後町分区	一般	11	1	(改)高橋	
羽後町	11月16日	日赤羽後町分区	一般	18	1.5	(改)稲岡	
	計	51回		1,380	109		58

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5月12日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	36	2	(変)稲岡
	6月21日	(株) ALL-A	一 般	11	2	(変)稲岡・(※)高橋
	9月21日	中通地域包括支援センター 幸ザ・サロン	一 般	16	1.5	(変)稲岡
	9月30日	秋田市赤十字奉仕団	関 係 団 体	64	1	(変)稲岡
能 代 市	8月1日	能代市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	14	2	(※)伊藤
横 手 市	7月11日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	35	3	(変)稲岡
大 仙 市	11月8日	中仙公民館鶯野分館	公 的 団 体	43	2	(変)稲岡
三 種 町	8月31日	三種町社会福祉協議会 (WEB)	一 般	17	1.5	(変)稲岡
	10月16日	日赤三種町分区	奉 仕 団 員 一 般	67	2	(変)稲岡・(※)新野
五城目町	11月30日	五城目町森山地区公民館	一 般	19	1.5	(変)稲岡
計	10回			322	18.5	

※健康生活支援講習全体で、61回、受講者数1,702人、講習時間127.5時間であった。

- ・指導員欄の(変)は支部職員、(網)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員、(短)は日赤短大職員、(※)はボランティア指導員を表す。
- ・資格取得者数欄は支援員養成講習(12時間)を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。
- ※新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点からオンライン講習の実施。(WEB)と記入。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	6月18日
会 場	秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
参加者数	28人(参集 18人、web参加 10人)
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアをはじめよう ・これからの健康生活支援講習を考える(GW)

(4) 令和4年度健康生活支援講習講師研修会

期 日	1月10日～11日
参 加 者	健康生活支援講習講師 稲岡一枝

4. 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	4月26日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	36	6	(支)稲岡 (看)鈴木・児玉	36
	5月17日	秋田駅東保育園	保 育 士	8	1.5	(支)碓谷	
	6月2日	あきた保育園	保 育 士	13	1.5	(支)稲岡	
	6月12日	県健康福祉部地域・家庭福祉課 (WEB)	一 般	15	1	(乳)水澤	
	6月23日	ナーサリー小鳥の木	保 育 士	10	1.5	(支)碓谷	
	6月24日	ナーサリー小鳥の木	保 育 士	9	1.5	(支)碓谷	
	7月3日	あきたこどもの森	保 育 士	8	1	(※)野中	
	7月6日 7月7日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	17	10	(支)稲岡・碓谷	17
	8月16日	こどものくに保育園	保 育 士	5	1.5	(支)碓谷	
	8月26日	県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課	保 育 士	29	2	(支)平尾・碓谷	
	9月13日	秋田駅東保育園	保 育 士	7	1.5	(支)碓谷	
	10月2日	秋田市御野場新町4丁目町内会	一 般	21	1	(支)碓谷	
	10月8日	日本赤十字社秋田県支部	高校生・教諭	9	3	(支)稲岡	
	10月28日	はねかわ保育所	保 育 士	7	1	(支)碓谷	
	11月2日	秋田市保育協議会 保健部会 (WEB)	保 育 士	31	1.5	(支)稲岡・鎌田・碓谷	
	12月13日 12月14日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	37	12	(支)稲岡・碓谷 (看)児玉・鈴木	37
	12月20日 12月21日	日本赤十字秋田看護大学 (WEB)	大 学 生	39	12	(支)稲岡・碓谷 (看)児玉	39
	2月6日	あきた中央保育園	保 育 士	18	1	(※)伊藤	
	3月13日	秋田赤十字病院院内保育園「ちえの和」	保 育 士	5	1	(病)竹澤	
横 手 市	6月12日	県健康福祉部地域・家庭福祉課 (WEB)	一 般	8	1	(乳)水澤	
大 館 市	7月13日	大館市児童発達支援センターひまわり	一 般	9	1	(※)糸屋・深澤	
鹿 角 市	6月8日	八幡平なかよしセンター	一 般	12	1	(※)糸屋・長内	
	6月8日	八幡平なかよしセンター	一 般	12	1	(※)糸屋・長内	
大 仙 市	8月30日	県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課	保 育 士	21	2	(支)碓谷 (※)佐野	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
北秋田市	6月12日	県健康福祉部地域・家庭福祉課 (WEB)	一 般	6	1	(乳)水澤	
	8月29日	県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課	保 育 士	17	2	(支)碓谷 (※)糸屋・長内	
仙 北 市	11月 8 日	仙北市	保 護 者	9	1	(支)碓谷	
大 潟 村	6 月 9 日	日赤大潟村分区	保 育 士	38	1	(支)碓谷	
計	28回			456	72.5		129

※幼児安全法全体で、28回、受講者数456人、講習時間72.5時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(乳)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員、(乳)は赤十字乳児職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（10時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

※新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点からオンライン講習の実施。(WEB)と記入。

(2) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 5月14日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参加者数 32人（参集 27人、web参加 5人）

研修内容 ・赤十字幼児安全法 乳幼児の一次救命処置（8版）の改定内容について

・赤十字幼児安全法教本（11版）の改定内容について

(3) 令和4年度幼児安全法講師研修会

期 日 1月11日～12日

参加者 幼児安全法講師 稲岡一枝

5. 水上安全法

水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	8月6日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	12	1.5	(※)伊藤三・大塚	
能 代 市	7月8日	能代市立第五小学校	小 学 生	14	1	(※)佐藤勇・伊藤三・大塚 秋山里	
	7月14日	能代市立第四小学校	小 学 生	35	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚 秋山里・伊藤三	
	7月14日	能代市立第四小学校	小 学 生	33	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚 秋山里・伊藤三	
	9月2日	能代市立湍城西小学校	児 童	20	1	(※)佐藤勇・大塚	
	9月2日	能代市立湍城西小学校	児 童	22	1	(※)佐藤勇・大塚	
湯 沢 市	7月14日	湯沢市立湯沢西小学校	プ ール 監 視 員 保 護 者	30	1.5	(※)銭谷	
鹿 角 市	6月8日	八幡山なかよしセンター	保 育 士	12	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・長内	
	6月8日	八幡山なかよしセンター	保 育 士	12	1	(※)糸屋幸・糸屋賢	
	9月2日	鹿角市立十和田小学校	児童及び保護者	60	1	(※)長内	
	9月2日	鹿角市立十和田小学校	児童及び保護者	60	1	(※)長内	
	9月2日	鹿角市立十和田小学校	児童及び保護者	60	1	(※)長内	
北秋田市	7月16日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ール 監 視 員	21	2	(※)糸屋幸・糸屋賢・長内	
	9月2日	北秋田市立綴子小学校	児 童	20	1	(※)糸屋幸・糸屋賢	
	9月2日	北秋田市立綴子小学校	児 童	16	1	(※)糸屋幸・糸屋賢	
小 坂 町	6月8日	小坂町教育委員会	教員、プ ール 監 視 員	15	1	(※)長内	
八 峰 町	9月9日	八峰町立八森小学校	児 童	26	1	(※)佐藤勇・糸屋幸・糸屋賢 大塚・秋山里	
	9月9日	八峰町立八森小学校	児 童	25	1	(※)佐藤勇・糸屋幸・糸屋賢 大塚・秋山里	
	9月9日	八峰町立八森小学校	児 童	28	1	(※)佐藤勇・糸屋幸・糸屋賢 大塚・秋山里	
大 瀧 村	6月29日	日赤大瀧村分区	プ ール 監 視 員	7	1.5	(※)佐藤勇・大塚	
計	20回			528	22.5		0

※指導員欄の(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（14時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	4月23日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	20人（参集 15人、web参加 5人）
研修内容	赤十字救急法基礎講習教本（第7版）の改定内容について

(3) 技術研修会の実施

期 日	6月5日
会 場	秋田県立総合プール ダイビングプール
参加者数	13人
研修内容	救助員養成講習における実技指導の確認について

6. 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月26日	日赤秋田看護大学・短期大学 赤十字教育委員会 赤十字防災ボランティアステーション	大 短 学 大 生 生	24	7	(病)竹澤	24
計		12回		269	9		24

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（7時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7. 救急法等指導員登録状況

(令和5年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	40	51	91
健 康 生 活 支 援 講 習	21	10	31
水 上 安 全 法	6	20	26
幼 児 安 全 法	18	16	34
雪 上 安 全 法	1	0	1
防 災 セ ミ ナ ー	17	7	24
計	103	104	207

8. 赤十字奉仕団等

1. 組織状況

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	1,093	11,792	12,885
特別奉仕団	青年奉仕団	6	29	95	124
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	1	5	6
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	10	50	60
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	24	2	26
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	15	5	20
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	30	20	50
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	6	3	9
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	90	18	108
特殊奉仕団計		7	176	103	279
合計		66	1,298	11,990	13,288

(1) 地域赤十字奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数(団)	班数(班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	佐竹睦子	12	0	0	208	208
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32.3.26	鈴木一枝	0	0	0	53	53
能代市赤十字奉仕団	S34.4.1	石川鋭子	19	71	10	364	374
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44.7.5	齊藤正子	7	0	7	306	313
横手市赤十字奉仕団	S45.4.1	嶋田陽子	5	28	42	1,729	1,771
大館市大館赤十字奉仕団	S33.9.17	佐藤明子	10	0	0	1,350	1,350
大館市比内赤十字奉仕団	S35.6.24	安部正子	4	0	0	630	630
大館市田代赤十字奉仕団	S36.6.1	佐藤かよ子	9	0	0	140	140
男鹿市赤十字奉仕団	S40.4.1	吉田萬里子	7	14	0	320	320
湯沢市赤十字奉仕団	S29.4.1	北村ルミ子	4	0	0	237	237
鹿角市赤十字奉仕団	S27.6.1	阿部由理子	0	0	0	152	152
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37.4.1	畠山恵美子	2	0	0	31	31
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48.4.1	鈴木とみ子	2	2	0	140	140
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12.1	木原由美子	0	0	0	41	41
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38.4.25	阿部タツ子	6	0	0	33	33
由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	S33.5.31	小松こず江	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33.6.18	土田典子	1	0	0	40	40

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32. 4. 1	庄 司 和 子	0	0	14	13	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10. 1	潟 保 博 子	2	2	0	66	66
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 3.22	小 玉 喜久子	3	57	0	951	951
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43. 4. 1	高 橋 要	0	0	59	40	99
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33. 5.15	佐 藤 あや子	1	63	2	147	149
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30. 3.31	高 橋 トモ子	5	0	0	309	309
大仙市太田赤十字奉仕団	S30. 3.30	高 橋 千恵子	3	0	3	73	76
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37. 4. 1	寺 田 要 子	9	181	26	146	172
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34. 4. 1	齊 藤 レ ッ	0	0	0	20	20
大仙市協和赤十字奉仕団	S33. 8. 2	佐 藤 けい子	1	0	3	119	122
大仙市南外赤十字奉仕団	S45. 4. 1	高 橋 妊 子	1	42	12	69	81
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26. 5. 1	中 嶋 洋 子	8	0	0	687	687
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37. 4. 1	松 橋 セツ子	24	24	0	326	326
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12. 2	伊 東 由美子	16	75	0	200	200
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30. 4. 1	福 岡 史 恵	10	75	0	202	202
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62. 6. 2	白 瀬 美弥子	1	1	0	18	18
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	71	71
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53. 6. 1	阿 曾 綾 子	0	0	0	12	12
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32. 4. 1	赤 川 和 子	4	173	62	111	173
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33. 4. 1	佐 藤 リ ヨ	3	0	35	88	123
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33. 4.25	門 脇 トキヨ	1	0	0	31	31
小坂町赤十字奉仕団	S32. 4. 1	小笠原 シゲ子	0	0	2	12	14
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23. 4. 1	伊 藤 明 美	17	0	0	327	327
藤里町赤十字奉仕団	S23. 4. 1	淡 路 高 江	0	0	0	210	210
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55. 3.23	鎌 田 まさ子	0	0	37	129	166
三種町山本赤十字奉仕団	S52. 3.14	小山内 美紀子	1	105	12	111	123
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 4. 1	堀 田 キミ子	0	0	0	49	49
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 5. 1	岡 田 正 子	3	0	0	91	91
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 4. 1	森 田 葉 子	0	16	0	46	46
五城目町赤十字奉仕団	S23. 4.26	小 野 サダ子	3	3	0	63	63
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 7. 1	佐 藤 操	0	0	0	50	50
井川町赤十字奉仕団	S30. 2. 1	片 野 みとる	17	0	0	244	244
大潟村赤十字奉仕団	S44.11. 1	松 崎 信 子	1	6	0	35	35
美郷町赤十字奉仕団	H16.11. 1	森 元 博 美	3	139	118	278	396
羽後町赤十字奉仕団	S33. 9. 1	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 7.30	鈴 木 キミコ	16	89	309	320	629
計	53 団		251	1,231	1,093	11,792	12,885

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38. 4. 1	三浦泰輔	佐々木恵子	8	11	19
日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団	H 8.11.29	熊谷永遠		8	69	77
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団	H13. 4.26	小松明希	草薨友愛	3	1	4
秋田県立大学学生赤十字奉仕団	H18. 6. 1	三村保翔	戸毛穂乃美	7	3	10
秋田大学学生赤十字奉仕団	H27. 4.26	草薨理天		1	0	1
国際教養大学学生赤十字奉仕団	R 3.12. 3	天野友樹	宮崎青春	2	11	13
計		6 団		29	95	124

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和5年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41.11. 1	鈴木敦子	吉田圭子	1	5	6
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42. 5. 4	小野敏実都	中村久夫 石塚喜奈	10	50	60
秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	S46.12.19	石川和男	小林康司	24	2	26
秋田県赤十字水上安全法奉仕団	S53. 6.10	三森幹男	銭谷郁雄 大塚貴代	15	5	20
秋田県赤十字救急法奉仕団	S60. 6.28	田口昇	佐々木清志 長内昭繼 竹内健司	30	20	50
秋田県赤十字災害救護奉仕団	H11. 8.28	八代千春	竹内健司 高橋邦明	6	3	9
秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	H15. 4. 1	眞井田恭雄	柴田正臣 伊藤勲夫 佐藤朋夫	90	18	108
計		7 団		176	103	279

2. 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
出席者 地域奉仕団 33人（内：WEB参加9人）
特殊奉仕団 7人（内：WEB参加2人）
内 容 令和3年度 事業概要
令和4年度 事業計画
奉仕団活動報告
・秋田市赤十字奉仕団 佐竹 睦子委員長
・大仙市中仙赤十字奉仕団 高橋 トモ子委員長

(2) 赤十字奉仕団中央委員会 ハイブリッド形式（WEB参加）

期 日 5月30日～31日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
出席者 小玉 喜久子
オブザーバー参加 稲岡 一枝

(3) 地域包括ケア事業担当者会議（第1回）オンライン形式

期 日 6月3日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
出席者 支部職員 稲岡 一枝

(4) 赤十字奉仕団支部指導講師会議

期 日 6月29日
主催者 日赤秋田県支部
会 場 日赤秋田県支部 研修室
出席者 支部指導講師 5人
支部職員 3人
内 容 令和4年度の活動について
今後の活動について

(5) 支部赤十字奉仕団担当者研修会 WEB参加

期 日 7月6日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
出席者 支部職員 川上 恵

(6) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 10月24日～25日
会 場 ホテルサンルーラル大潟
出席者 地域奉仕団 51名
特別奉仕団 3人
支部委員会 3人
支部指導講師 3人
支部職員 5人

内 容 「赤十字について」

支部指導講師 佐藤 勇一

「赤十字奉仕団活動について」

- ・地域包括ケアについて
- ・奉仕団活動で役立つ実技

日赤秋田県支部 稲岡 一枝

グループディスカッション

「自分たちが、今出来ること」

日赤秋田県支部 菊地 雄大

(7) 地域包括ケア事業担当者会議（第2回）オンライン形式

期 日 10月26日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
出席者 支部職員 稲岡 一枝

(8) 赤十字ボランティア情報誌（「RCV No.80」）の作成にかかる取材

(WEB参加) **令和4年度優良事例**

期 日 12月9日
会 場 日赤秋田県支部 研修室

出席者 仙北市角館町赤十字奉仕団委員長 赤川和子

(9) 赤十字奉仕団中央委員会常任委員会 ハイブリッド形式（WEB参加）

期 日 12月2日

出席者 小玉 喜久子

(10) 仙北市角館町赤十字奉仕団による「和さろん」を本社視察

期 日 1月24日

主催者 仙北市角館町赤十字奉仕団

会 場 仙北市角館「石黒恵家」

出席者 参加者10人

仙北市角館町赤十字奉仕団 2人

日赤仙北市地区 2人

日本赤十字社本社 3人

支部職員 2人

内 容 軽体操、パタカラ体操、リラクゼーション
ハンドケア、ポッチャなど

(11) 地域包括ケア事業担当者会議（第3回）

期 日 2月13日～14日

会 場 日本赤十字社

出席者 支部職員 稲岡 一枝

(12) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会正副委員長会議

期 日 3月15日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

出席者 支部委員会正副委員長 5人

日赤秋田県支部職員 3人

3. 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア. 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・ 赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・ 献血推進事業に関する奉仕
- ・ 災害救護業務に関する奉仕
- ・ 社会福祉施設への訪問
- ・ 地域高齢者支援に関する奉仕
- ・ その他社会福祉に関する奉仕
- ・ その他

イ. コロナ禍において、奉仕団活動の情報共有に役立てていただきたく、各地域における活動を当支部ホームページで紹介した。

奉仕団名	タイトル
秋 田 県 赤 十 字 奉 仕 団 (地 域 ・ 特 殊)	赤十字奉仕団委員長・地区分区担当者会議をハイブリッド形式で実施！
秋 田 県 北 秋 田 地 区 (北秋田市・上小阿仁村)	「元気で住みよい地域に」を合言葉に
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	「今、私たちが出来ること」 「ハートラちゃんを作って笑顔になろう！」
大仙市中仙赤十字奉仕団 秋田県赤十字芸能奉仕団	「あすなろサロン」に強力な応援団が！
八峰町峰浜赤十字奉仕団	「コロナ禍でも楽しめる景観づくり」
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	互いに支え合う地域づくりをめざして
大 潟 村 赤 十 字 奉 仕 団	今年も 地域の防災訓練に参加！
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	アームカバーを赤十字病院へ ～アームカバー作成、3年目となりました。～
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	令和4年度秋田県総合防災訓練 ～非常炊き出し訓練に参加しました。～
五 城 目 町 赤 十 字 奉 仕 団	岡本2区ふれあいサロン
三 種 町 赤 十 字 奉 仕 団	ボランティア活動でフレイル予防！ 三種町（山本・八竜・琴丘）奉仕団研修会実施
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団 明 徳 分 団	清拭布作り、新成園様にお届けしました。 活動を継続するための3B体操も欠かせません。

奉仕団名	タイトル
仙北市角館町赤十字奉仕団	健康生活支援講習から 和（のどか）サロンに役立つ方法を知りましょう！
秋田市赤十字奉仕団	初心にかえって 赤十字を理解しよう。 ～3年ぶりに赤十字奉仕団研修会を実施～
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	火災・水害などの被害にあわれた方へ お見舞金と救済物資を届けています。
秋田市赤十字奉仕団	秋田市赤十字奉仕団・秋田北高・聖霊高JRC部 コラボ ～手つなぎ活動～
八峰町八森赤十字奉仕団	フレイルを予防し、元気に奉仕団活動を！
大仙市中仙赤十字奉仕団	大仙市中仙赤十字奉仕団と地域自治会等との協働活動で赤十字 防災セミナーを実施！ さらに秋田県赤十字芸能奉仕団が活動支援に！
横手市赤十字奉仕団赤十字 大雄分団	これからの寒さに負けずにフレイル予防で元気に！ 横手市赤十字奉仕団 大雄分団 健康生活支援講習を実施
秋田市赤十字奉仕団 上北手分団	心の繋がりを再認識
秋田市赤十字奉仕団 保戸野分団	アームカバー作成で、チーム力アップ
仙北市赤十字奉仕団	仙北市赤十字奉仕団との意見交換会を実施しました。 ～奉仕団・社協さんとしっかり つながっています～
由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	健康寿命の大切さ
大湯村赤十字奉仕団	ふれあい交流会「きりたんぼ鍋」
仙北市角館町赤十字奉仕団	「和さろん」参加してきました！
北秋田市合川赤十字奉仕団	防災研修会「みんなで高める地域防災力」を行いました。
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	能代市二ツ井町赤十字奉仕団から子どもたちに一足早い、春 のプレゼントが届きました。
大仙市地区赤十字奉仕団	大船渡市赤十字奉仕団&大仙市地区赤十字奉仕団 ～3年ぶりの交流会を実施～
能代市赤十字奉仕団	健康生活支援講習 ～人生のエンディングについて考える～
赤十字奉仕団秋田県支部 委員会正副委員長会議	今年度の活動を振り返りました。
秋田市赤十字奉仕団	感激です！秋田赤十字病院より感謝状いただきました。 ～秋田北高JRC部&秋田市赤十字奉仕団
秋田市赤十字奉仕団	秋田赤十字病院で利用いただいています。
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	肌寒い中、元気に活動しました！
大仙市地区赤十字奉仕団	震災支援の絆 岩手県大船渡赤十字奉仕団&大仙市地区赤十字 奉仕団の絆今後もつながります。

ウ. その他特徴ある活動

(1) 第64回秋田市赤十字奉仕団総会

期 日 4月22日
会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
参 加 者 奉仕団員 41人
内 容 ・アンリーデュナンの像に献花
・励ましの言葉・メッセージ
日赤秋田市地区長 穂積 志

(2) 第52回赤十字奉仕団秋田県北地区大会

期 日 5月13日
会 場 阿仁公民館
参 加 者 奉仕団員 100人
内 容 講演 健康寿命をのばすためにフレイルを予防しよう
～コロナ禍で体力おちていませんか?～
日本赤十字社秋田県支部
参事 稲岡 一枝

(3) 能代市赤十字奉仕団定期総会

期 日 5月20日
会 場 プラザ都
参 加 者 奉仕団員 55人
内 容 日赤奉仕団60周年記念講演
講演 赤十字の現状と課題
～最近の赤十字の主な活動と課題～
赤十字この一年DVD 視聴
日本赤十字社秋田県支部
事業推進課長 平尾 孔

(4) 大仙市中仙奉仕団による「あすなろサロン」と秋田県赤十字
芸能奉仕団がコラボ

期 日 6月30日

会 場	新関会館	
参 加 者	サロン参加者	11人
	大仙市中仙奉仕団	3人
	秋田県赤十字芸能奉仕団	8人
	日赤秋田県支部職員	2人
内 容	秋田県赤十字芸能奉仕団による歌と踊りのステージ	

(5) 秋田市赤十字奉仕団学習会

期 日	9月30日	
会 場	遊学舎	
参 加 者	奉仕団員 64人	
内 容	赤十字と国際人道法	

日本赤十字社秋田県支部

事業推進係長 菊地 雄大

災害時に役立つ知識と技術

日本赤十字社秋田県支部

参事 稲岡 一枝

(6) 秋田市赤十字奉仕団による「アームカバー伝達講習」

期 日	10月3日	
会 場	秋田北高校	
参 加 者	秋田市赤十字奉仕団	12人
	県立秋田北高 JRC 部	13人
	聖霊高 JRC 部	8人
	日赤秋田県支部職員	4人

(7) 能代市二ツ井町赤十字奉仕団による「8月の大雨災害義援金」

「ウクライナ人道危機救援金」街頭募金活動及び防災グッズの展示

期 日	10月16日	
会 場	二ツ井町総合体育館	
参 加 者	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	10人
	防災ボランティアリーダー	1人

日赤秋田県支部職員 1人

(8) 三種町赤十字奉仕団による町民祭での健康生活支援講習の実施

期 日 10月16日
会 場 三種町琴丘総合体育館
参 加 者 三種町赤十字奉仕団 12人
ボランティア指導員 1人
日赤秋田県支部職員 1人
受 講 者 町民 67人

(9) 大仙市中仙奉仕団と秋田県赤十字芸能奉仕団がコラボ

期 日 11月8日
会 場 鶯野公民館
参 加 者 自治会役員、自治防災会役員、
鶯野友和会、奉仕団員 43人
秋田県赤十字芸能奉仕団 12人
日赤秋田県支部職員 2人
内 容 赤十字防災セミナー
・大雨水害DVD視聴
・災害時高齢者生活支援講習
秋田県赤十字芸能奉仕団による歌と踊りのステージ

(10) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 11月14日
会 場 湯らくの宿のしろ
参 加 者 能代市赤十字奉仕団 35人
能代市二ツ井町赤十字奉仕団 34人
八峰町八森赤十字奉仕団 10人
八峰町峰浜赤十字奉仕団 10人
赤十字奉仕団支部指導講師 3人
日赤秋田県支部職員 2人
内 容 「データでみる能代市・八峰町の健康問題」

「赤十字防災セミナー」

・大雨水害 DVD 視聴

「東日本大震災派遣から学んだこと」

「赤十字奉仕団活動について考える」

「交流レクリエーション」

(11) 仙北市赤十字奉仕団交流研修会

期 日 11月25日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 仙北市角館町赤十字奉仕団 4人
仙北市田沢湖赤十字奉仕団 3人
仙北市西木町赤十字奉仕団 1人
日赤地区分区担当者 3人
日赤秋田県支部職員 3人

内 容 ・赤十字奉仕団活動意見交換
・日赤秋田県支部 救援物資倉庫の確認
・「別れの乳房」見学

(12) 日赤大仙市地区研修会

期 日 3月3日

会 場 大船渡市魚市場多目的ホール

出 席 者 大船渡市赤十字奉仕団 10人
大船渡市地区担当者 1人
大仙市地区奉仕団 30人
日赤大仙市地区担当者 8人
日赤秋田県支部職員 1人

(13) 秋田赤十字病院にアームカバー・ハートラちゃんワッペン寄贈

秋田市赤十字奉仕団&秋田北高JRC部へ赤十字病院より感謝状

期 日 3月28日

会 場 秋田赤十字病院

出 席 者 秋田市赤十字奉仕団 5人

秋田北高JRC部 3人

日赤秋田県支部職員 1人

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア HIV/AIDS ピア・リーダー養成研修会への参加

期 日 6月12日

会 場 Web会議

出席者 2人

イ 青年奉仕団第1ブロック協議会への参加

期 日 8月20日

会 場 Web会議

出席者 1人

ウ 第1ブロック統一キャンペーンへの参加

期 日 令和5年3月4日

会 場 Web会議

出席者 1人

エ その他

- ・献血への呼びかけ活動

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、音声訳、弱視の方のためには拡大複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(2回発行)

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 鈴木 敦子

ウ 随時依頼のあったものの点訳

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 小野敏実都

イ 大仙市中仙赤十字奉仕団による地域高齢者交流活動「あすなろサロン」への協力

期 日 6月30日
会 場 新関会館
奉仕人員 8人
内 容 民謡、踊りを披露し参加者と交流

ウ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月24日～25日
会 場 ホテルサンルーラル大潟
参 加 者 1人

エ 大仙市中仙赤十字奉仕団が地域で開催した「災害時高齢者生活支援講習」への協力

期 日 11月8日
会 場 鶯野公民館
奉仕人員 12人

内 容 民謡、踊りを披露し参加者と交流

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
5月19日	9:00～11:30	鹿児島県赤十字アマチュア無線赤十字奉仕団
10月16日	10:00～11:30	鳥取県無線赤十字奉仕団
10月16日	10:00～11:30	鳥取県無線赤十字奉仕団
10月22日	13:00～15:00	兵庫県無線赤十字奉仕団
10月23日	10:00～12:00	兵庫県無線赤十字奉仕団
10月30日	14:00～16:00	北海道北斗市地区無線赤十字奉仕団
11月5日	10:00～12:00	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
11月6日	9:30～11:00	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
11月6日	9:00～11:00	和歌山県赤十字特別救護奉仕団
12月11日	9:00～11:00	日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
12月18日	10:00～11:00	愛知県赤十字無線奉仕団
1月7日	9:30～12:00	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
1月29日	9:30～10:30	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
3月19日	10:00～12:00	福岡県赤十字無線奉仕団
3月26日	10:00～12:00	神奈川県無線救急赤十字奉仕団
計		15回・13日

ウ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 石川 和男

4) 水上安全法奉仕団

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加 (web 参加)

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 三森 幹男

イ 総会の実施

期 日 4月23日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 10人

ウ 役員会の実施

期 日 3月5日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 7人

エ. その他

小学生に対する着衣泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

○県北地区

期 日 10月8日
会 場 北秋田市ふれあいプラザ コムコム
内 容 基礎講習
受 講 者 9人

○中央地区

期 日 12月3日

会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 基礎講習
受 講 者 11人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 副委員長 竹内 健司

ウ 総会の実施

期 日 4月23日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 25人

エ 地区研修会

○県北地区

期 日 6月25日
会 場 北欧の杜公園
内 容 ・基礎講習(暫定措置内容)及び救急法2020ガイドラインの確認と
ターニケットの扱い方の復習
・県北奉仕団主催講習についての協議
出 席 者 5人

○中央地区

期 日 12月3日
会 場 秋田県社会福祉会館 日赤研修室
内 容 救急員養成講習における実技の確認
出 席 者 8人

○県南地区

期 日 3月5日

会 場 横手わいわいプラザ
内 容 ・心肺蘇生、搬送の実技の確認（動画視聴）
・講習会における感染対策について
出席者 8人

オ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月24日～25日
会 場 ホテルサンルーラル大潟
参加者 1人

カ 役員会の実施

期 日 3月4日
会 場 日赤秋田県支部 研修室（WEB 併用）
参加者 9人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 委員長 八代千春

イ 令和4年8月3日からの大雨災害救護活動の実施

- ・情報収集
- ・救援物資輸送調整
- ・ボランティアセンターニーズ調査

ウ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員と

しての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月24日～25日
会 場 ホテルサンルーラル大潟
参加者 1人

エ その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月14日
会 場 秋田社会福祉会館
参加者 委員長 眞井田 恭雄

イ 全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会

期 日 7月14日～7月15日
会 場 日赤本社東館・別館（東京都）
参加者 1人

ウ 全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会第1ブロック会議

期 日 10月20日 Web 会議
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参加者 1人

エ その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	烏 トキエ

2) 会員数

個 人	法 人	計
142人	67社	209人・社

入会会員 8人 退会会員 17人

3) 主な活動

ア. 役員会

日 時 4月21日 13時30分～
場 所 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
出 席 者 7人

イ 総会

日 時 6月20日 13時30分～
場 所 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
出 席 者 23人

ウ 公開講演会

日 時 6月20日 14時～
場 所 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
内 容 演題 「笑いは健康と幸せへのかけ橋」
講師 人星亭一門会会長 人星亭喜楽駄朗 氏
参 加 者 21人

エ 全国赤十字大会参会

日 時 5月19日 10時30分～
場 所 明治神宮会館（東京都）
出 席 者 1人

オ 秋田県支部事業への助成

25万円を活動資金として寄付

カ 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター参加者へ記念品（赤十字マーク入りボールペン）を贈呈

期 日 8月2日

場 所 オンライン形式による開催

参加者 15人

キ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

期 日 10月6日

場 所 ANA クラウンプラザホテル大阪

出席者 1人

ク 会報「有功秋田」の発行

第71号 令和4年9月発行

ケ 新規会員勧誘

令和4年1月から令和5年3月までの有功章受章者140人と令和4年4月から令和5年3月までの有功章受章法人29社へ入会案内

コ 会員の慶弔

0件

サ 記念事業等資金積立

5万円を積み立て

9. 青少年赤十字（JRC）

1. 組織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

職名	氏名	勤務校名	電話番号
会長	伊藤 雅和	秋田南高等学校	018-833-7431
副会長	駒木 聖子	大館市立東中学校	0186-42-2835
同	伊藤 さつき	川尻小学校	018-824-2374
同	加藤 勝則	大曲中学校	0187-63-2222

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地区名	会長名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	駒木 聖子	大館市立東中学校	0186-42-2835
能代・山本	高橋 直樹	淳城西小学校	0185-52-2237
男鹿・潟上・南秋	一関 隆則	弘戸小学校	0185-46-2510
秋田 市	伊藤 さつき	川尻小学校	018-824-2374
由利本荘・にかほ	阿部 亨	西目小学校	0184-33-2305
大仙・仙北	加藤 勝則	大曲中学校	0187-63-2222
横手 市	小松 亨	醍醐小学校	0182-25-4204
湯沢・雄勝	寺田 玲子	湯沢東小学校	0183-72-5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2. 登録状況

（令和5年3月31日現在）

区分	学校数	メンバー数(人)
幼稚園・子ども園・保育園	43 園	3,370
小学校	97 校	18,326
中学校	48 校	8,666
高校・支援・各種	27 校	1,859
計	215 校(園)	32,221

3. 令和4年度 秋田県青少年赤十字加盟 園・校

(令和5年3月31日現在)

		幼稚園	保育園	認定こども園	小 学 校	中 学 校	高校・専修	支援校	計
地 域	鹿角館北秋田				城南有浦積廻内 川口早口花岡 南米内沢鷹巣東 清鷹	東	十和田 大館桂桜 秋田北鷹		14園・校
	小計	0園 0人	0園 0人	0園 0人	10校 1,643人	1校 360人	3校 18人	0校 0人	2,021人
	能代山本			愛慈幼	淳城西ニッ井浜口 淳城南藤里湖北 第四琴丘八森 第五森岳峰浜内 向能代金岡浅内	能代第一八峰 能代第二藤里 能代東琴丘 能代南山本 東雲八竜 ニッ井	能代 能代松陽 能代科学技術		30園・校
	小計	0園 0人	0園 0人	1園 62人	15校 2,248人	11校 1,499人	3校 41人	0校 0人	2,021人
	男鹿南秋田			(認)追分幼	脇本第一飯田川八郎 船越天王大 弘戸追分美里	男鹿南潟西 男鹿東八郎潟	秋田西		15園・校
	小計	0園 0人	0園 0人	1園 99人	9校 1,773人	4校 521人	1校 27人	0校 0人	2,420人
	秋田	飯島幼	勝平保 第一ルンビニ保 こひつじ保 秋田赤十字乳児院	(認)こまどり幼 あきた中央こども園 サン・パティオおお まちこども園	川尻下新城桜 高清水東戸島 日新	秋田南 秋南高等部	金足農業 秋田北 秋田工業 秋田令和 聖霊女短大付 秋田クラーク	視覚支援 秋田きり支援	25園・校
	小計	1園 77人	4園 369人	3園 185人	7校 3,082人	2校 561人	6校 773人	2校 118人	5,192人
	本荘由利		本荘保		小友由利西目	東由利西目			6園・校
	小計	0園 0人	1園 124人	0園 0人	3校 537人	2校 210人	0校 0人	0校 0人	871人
	大仙北		はなだて保 大曲東保 大曲南保 大曲北保 大曲乳児保 大川西根保 角間川保 藤木保 内小友保 中仙東保 みつば保 角館西保	(認)なかせんアライランド (認)せんぼくちびこらんど (認)おおたわんぱくランド (認)すくすくだけっこ園 (認)西仙あおぞらこども園 大曲駅前こども園 仙南すこやか園 六郷わかろく園 千畑なかよし園 四ツ屋こども園 大曲中央こども園	大曲西仙北角館 東大曲清水白岩 花館豊成生保内 内小友中仙神代 大川西根協和西明寺 藤木太田東松木内 四ツ屋太田南六郷 角間川太田北千畑 神岡南外仙南 高梨横堀	大曲角館 大曲西生保内 大曲南神代 平和西明寺 西仙北松木内 中仙美郷 協和南外 仙北太田	大曲農業 大曲農業 太田分校 大曲工業 角館 秋田修英	大曲支援	74園・校
	小計	0園 0人	12園 800人	11園 1,005人	29校 4,705人	16校 2,678人	5校 195人	1校 76人	9,459人
	横手		醍醐保 むつみ乳児保	(認)こひつじ むつみ幼保連携型 認定こども園 (認)土屋幼 (認)上宮第一幼 (認)上宮第二幼	横手南増田大森 朝倉浅舞十文字 旭吉田山内 栄醍醐横手北 雄物川大雄	横手北増田 横手南平鹿 横手清陵学院 横手明峰 十文字	横手 横手城南 雄物川	横手支援	32園・校
	小計	0園 0人	2園 115人	5園 304人	14校 2,507人	7校 1,955人	3校 486人	1校 46人	5,413人
	湯沢雄勝	双葉幼		湯沢よつぱこども園	湯沢東三輪西馬音内 湯沢西雄勝羽後明成 山田皆瀬高瀬 稲川	湯沢北雄勝 山田羽後 稲川	湯沢 稲川支援		19園・校
	小計	1園 108人	0園 0人	1園 95人	10校 1,831人	5校 882人	1校 1人	1校 78人	2,995人
合計	2園 185人	19園 1,435人	22園 1,750人	97校 18,326人	48校 8,666人	22校 1,541人	5校 318人	21園・校 32,221人	

4. 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

期 日 令和4年5月17日 10:00～12:00
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
出席者 11人（会長・理事・支部職員）

(2) 指導者協議会幹事会（第1回）

期 日 5月23日 15:30～16:30（Web会議）
会 場 参加者の勤務公署及び日赤秋田県支部研修室
出席者 6人（幹事長・幹事・支部職員）

(3) 指導者研修会

期 日 5月31日 13:00～16:00
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室
出席者 17人（教職員・支部職員）

(4) 全国指導者協議会総会・研修会

期 日 6月29日 14:00～17:00（Web会議）
会 場 参加者の勤務公署
参加者 1人（指導者協議会会長）

(5) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 8月2日 9:30～15:00（Web会議）
会 場 参加者の学校及び日赤秋田県支部研修室
参加者 15人（児童・生徒）

(6) 第1ブロック青少年赤十字指導者研究会

期 日 令和5年1月13日 13:30～16:00（Web会議）
会 場 秋田県社会福祉会館 日赤秋田県支部 研修室
対 象 5人（教諭・支部職員）

(7) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月22日 10:00～12:00
会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者 10人（会長・理事・支部職員）

(8) 指導者協議会幹事会（第2回）

期 日 12月5日 15:30～16:30（Web 会議）

会 場 参加者の勤務公署及び日赤秋田県支部研修室

出席者 8人（教諭・支部職員）

5. 青少年赤十字研究推進校

- 青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	能代市立浅内小学校	大館市立東中学校
委嘱年度	令和3～4年度	令和4～5年度
研 究 テ ー マ	「学ぶ楽しさ 生きる喜び 瞳かがやく浅小っ子」～小さな大大学校「浅小プライド」～	自分の未来とふるさとの未来を切り拓く生徒の育成 ～ふるさと大館とあなたの未来へ笑顔と優しさを届けよう～

6. 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 7月3日 13:00～16:00

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

参加者 18人（高校生・指導者・支部職員）

(2) 第1ブロック高等学校青少年赤十字交流会

期 日 10月1日 14:00～17:00（Web 参加）

会 場 秋田県社会福祉会館 日赤秋田県支部 研修室

参加者 7人（高校生・指導者・支部職員）

(3) 国際交流事業※オンライン開催

（第2部）

日 時 10月2日 11:00～16:00

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参加者 6人（高校生・指導者・支部職員）

(第2部)

日時 令和4年11月5日～6日
会場 日赤秋田県支部 研修室
参加者 6人(高校生・指導者・支部職員)

(4) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期日 12月11日 11:00～13:30
会場 秋田駅ぽぽろード
参加者 28人(高校生・支部職員)

(5) 青少年赤十字スタディー・プログラム

(第1部) ※オンライン開催

日時 令和5年3月21日
会場 日赤秋田県支部 研修室
参加者 4人(高校生・指導者・支部職員)

(第2部)

日時 令和5年3月25日
会場 日本赤十字社本社
参加者 3人(高校生・指導者)

7. 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第41号」令和5年3月31日発行

10. 広報・普及活動

1. 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数(部)	配 布 先
赤 十 字 N E W S	29,600	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	368,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	14,500	各地区・分区の奉仕者
パンフレット(要覧)	31,500	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	48,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校、献血者 他

2. 報道機関等を通じた広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載11社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5／1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5～7月に本社作成の運動月間用スポット及び支部で作成した広報用 スポットを使用
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

3. イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設等がタイアップし次のイベントを実施した。

レッドライトアッププロジェクト2022

場 所 ポートタワーセリオン

期 日 5月1日～5月31日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を
深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加いた
だき、赤くライトアップした。

4. インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

【ホームページアドレス等】

ホームページアドレス	https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	<ul style="list-style-type: none">・行事紹介・事業紹介・赤十字講習の受付・赤十字の歴史・赤十字マークについて・義援金（受付状況）等

【YouTube】

URL	https://www.youtube.com/channel/UCko3xsoA52A4SmO86QNf5Mg
動画の内容	<ul style="list-style-type: none">・赤十字幼児安全法の紹介・赤十字活動川柳優秀作品のご紹介・「教えて！病気や健康のこと！」等

【Twitter】

URL	https://mobile.twitter.com/akita_redcross
投稿内容	日々の業務内容

【Instagram】

URL	https://www.instagram.com/nisseki_akita/
投稿内容	日々の業務内容

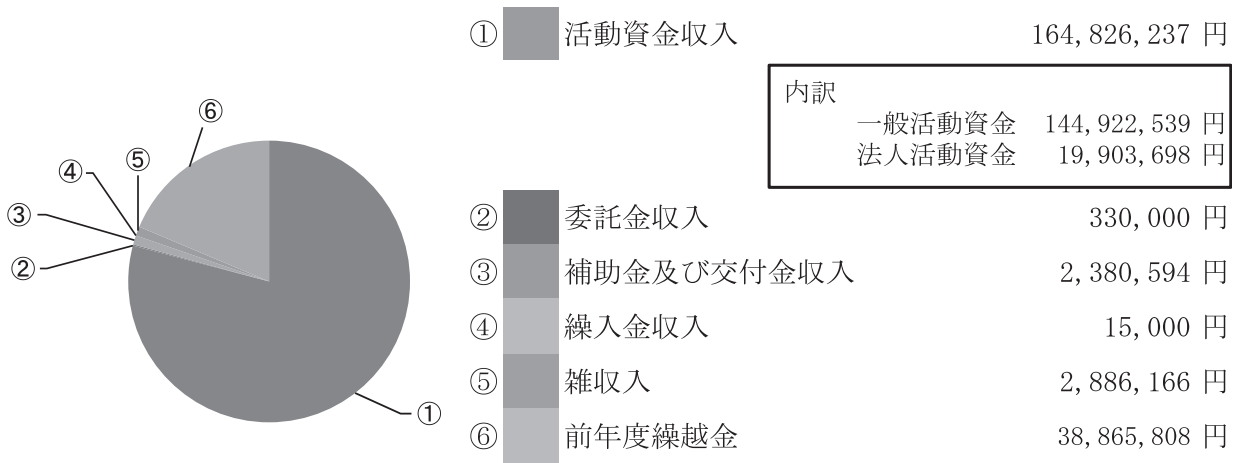
5. 動画の制作（YouTubeに掲載）

- (1) 「熱中症予防について」～秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～
- (2) 日本赤十字社秋田県支部活動紹介～奉仕団員募集編～
- (3) 日本赤十字社秋田県支部活動紹介～活動資金募集編～
- (4) 「新型コロナのこれから」～秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～
- (5) 想いを未来につなぐ遺贈寄付～あなたの社会貢献のかたち～

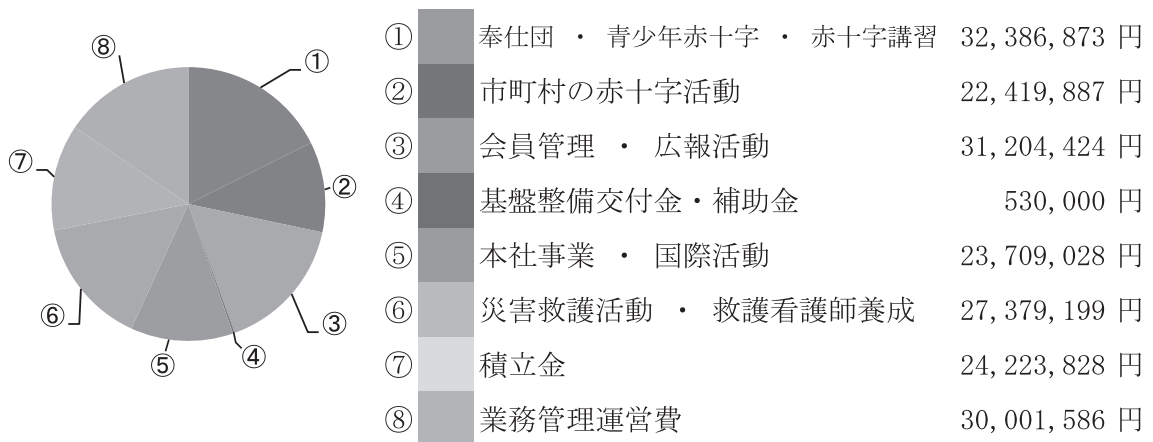
令和4年度日本赤十字社秋田県支部
歳入歳出決算概要

歳入額	209,303,805円
歳出額	191,854,825円
収支残	17,448,980円

歳入 209,303,805円



歳出 191,854,825円



11. 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

令和4年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努めるとともに、赤十字の使命である災害医療救護にも積極的に取り組み、地域との厚い信頼を築く」を指針とした。具体的施策には、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療への貢献、を掲げた。しかし、新型コロナウイルス感染症のために多くの計画や活動が叶わなかった。特に、年度内に数回の院内クラスターが発生したため、病棟閉鎖や外来および手術等が制限された。なお、本感染症に対して当院は、中等症から重症の感染者の治療にあたる医療機関と位置付けられ、その治療に当たった。

上記施策の評価は、

1) 安心で安全な、質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、要請件数469件、出動件数297件と、前年度より出動件数が増加した。

2) 災害医療救護としての救護班派遣は幸いにも無かった。しかし、本年度も災害を想定した訓練が行われた。

3) 外来患者数は前年度より減少し、コロナにより入院患者数も大きく減少した。収支は、医業収支は完全な赤字だったが、コロナ関係の補助金等の影響で、経常収支、病院収支とも黒字であった。

4) 病院機能としては、高度急性期・急性期の医療を実践している。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関から前年比235人減の5,961人の紹介を受け（紹介率60.3%）、その後逆紹介した（逆紹介率88.7%）。

2 医療活動

医師数は130名を超えるが診療科による偏在があり、県内外から応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科では、県内医療機関から要請があれば応じるようにしており、令和4年度は23箇所の医療機関へ医師を派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は31科。病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターがある。

令和4年度の入院患者数は延べ127,480人と前年度に比べて12,628人減少した。一日平均入院患者数は前年度の383.9人から349.3人になった。病床利用率は、79.6%（前年度比7.8pt減）だった。平均在院日数は12.9日と0.1日延長した。外来患者数は延べ187,759人で前年度より3,819人減少した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約4分の3であり、その他の地域は前年度と変わりなかった。

救急患者数は15,737人で前年度より1,011人増加した。救急からの入院は前年度より385人減少した。救急車による搬送数は前年度の3,001件から2,679件に減少した。

分娩数は615件で前年度より88件減少した。手術室で行われた手術件数は3,367件で前年度より259件減少し、全身麻酔手術数は2,148件で2件増加した。

人間ドックなどの健診事業について、本院では8,780人、あきた健康管理センターでは10,166人、併せて18,946人（前年度比346人減）の健診を行った。

診療収益は、入院が92億5千万円（前年度比3億2千万円の減）、外来が38億7千万円（前年度比9千万円の増）だった。診療単価は、入院72,581円、外来20,561円だった。病院収支としては、収入が163億7千万円（前年度比2億3千万円の減）、支出が155億5千万円（前年度比12億2千万円の増）であり、8億1千万円の黒字となった。令和5年度も引き続き病院収支を黒字にしなければならない。

修正あり 8,698人

修正あり 併せて18,864人（前年度比428人減）

3. 令和4年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,598	2,842	1,265	8,587	10,471	6,167
外来	3,580	14,016	10,312	5,319	8,447	9,892
	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	6,541	4,509	7,484	1,574	0	1,949
外来	6,919	10,263	7,035	1,524	7,801	6,195
	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
入院	5,331	14,420	2,076	1,742	0	25
外来	325	9,917	8,097	1,728	415	302
	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科
入院	19,354	1,392	4,919	274	5,132	7,587
外来	17,080	5,620	2,353	6,572	11,996	5,980
	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	3,223	13	1,928	0	7,077	127,480
外来	9,106	2,505	11,523	804	2,133	187,759

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	238	134	11	93	90	148	17
急病	12,811	2,079	49	10,683	4,485	8,326	1,518
その他	2,688	466	43	2,179	886	1,802	218
計	15,737	2,679	103	12,955	5,461	10,276	1,753

	患者の状況					
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡	
交通事故	201	0	34	1	2	
急病	9,995	23	2,711	18	64	
その他	2,222	1	450	6	9	
計	12,418	24	3,195	25	75	

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	615	
出生	641	
手術	3,367	手術室におけるもの
死亡	509	外来死亡75件含む
剖検	8	剖検率 1.8%

修正あり 242

修正あり 1,604

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診等
件数	5,223	1,378	238	1,608	4	271	58

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	241	25	0	0	0

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	695	410	90	1,904	0

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	25,605	75.31%	5,104	73.30%	30,709
鹿角市・郡	40	0.12%	11	0.16%	51
大館・北秋	515	1.51%	101	1.45%	616
能代・山本	584	1.72%	114	1.64%	698
男鹿・南秋	1,949	5.73%	413	5.93%	2,362
由利・本荘	1,067	3.14%	228	3.27%	1,295
大曲・仙北	3,154	9.28%	663	9.52%	3,817
横手・平鹿	349	1.03%	89	1.28%	438
湯沢・雄勝	200	0.59%	44	0.63%	244
県外	538	1.58%	196	2.81%	734
総合計	34,001	100.00%	6,963	100.00%	40,964

秋田市内訳

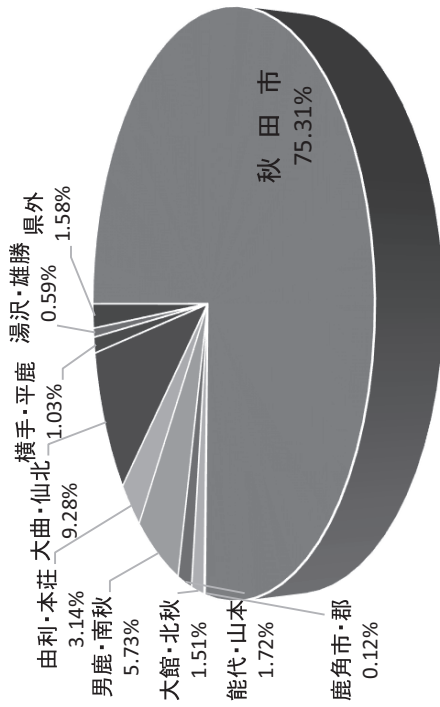
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,605	14.08%	714	13.99%	4,319
東部地区	6,168	24.09%	1,204	23.59%	7,372
西部地区	2,250	8.79%	459	8.99%	2,709
南部地区	8,476	33.10%	1,603	31.41%	10,079
北部地区	2,074	8.10%	415	8.13%	2,489
河辺・雄和	3,032	11.84%	709	13.89%	3,741
秋田市合計	25,605	100.00%	5,104	100.00%	30,709

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

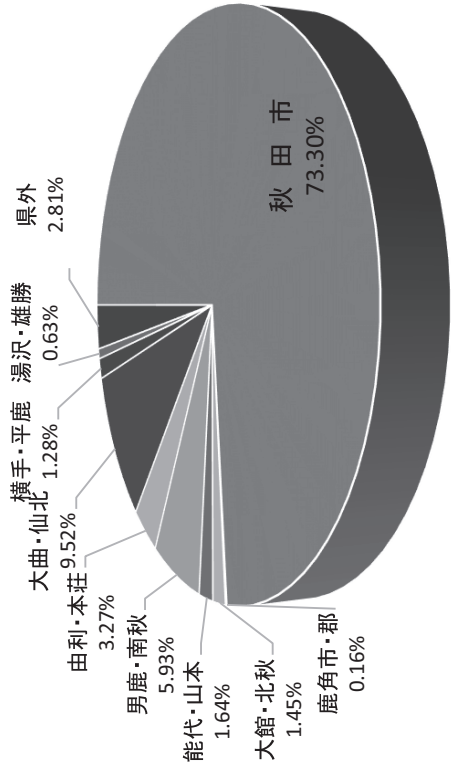
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,453	1,375	6,062	161	115	0

全患者内訳

外来患者

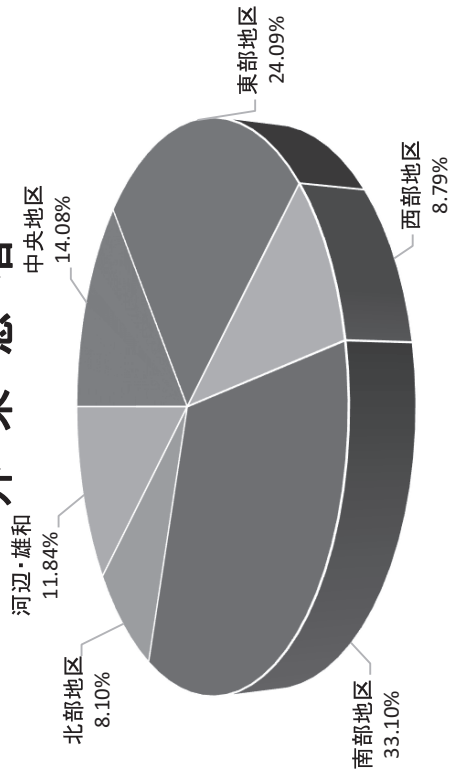


入院患者

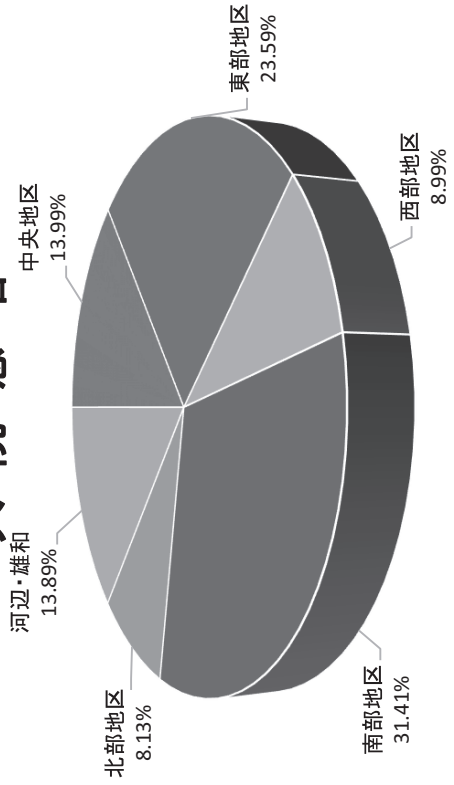


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12. 血液事業

(秋田県赤十字血液センター)

1. 概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、企業における在宅勤務や学校におけるオンライン授業など「新しい生活様式」が社会に浸透し、献血を取り巻く環境も大きく変化している。このような中でも引き続き医療機関に対して血液製剤を安定的に供給するため、医療需要に基づく必要血液量を過不足なく確保することが大切であることから、400mL献血、成分献血を中心として計画的かつ効率的な確保に向けた事業の推進に努めた。

(1) 献血推進と実績について

- ア 令和4年度の献血実績は、200mL献血745人、400mL献血24,091人、成分献血13,565人、合計38,401人となり、事業計画を1,244人（計画比103.3%）上回った。
- イ 新型コロナウイルスの感染拡大により、職域や学域において献血実施できない会場が発生した。市町村においては、外部入場制限やイベントの中止により例年実施していた献血受入ができなくなるケースもあったが、新規献血協力事業所や過去に献血協力をしたことのある企業に打診し代替会場を得ることができた。県民や各献血協力団等の献血協力はもとより、県、保健所及び市町村の協力により概ね順調に献血血液の確保ができた。
- ウ 令和4年度の日本赤十字社にける献血予約は70%を目標とし予約の推進に取り組んできたものの、当血液センターは52.2%（固定施設84.9%、献血バス18.0%）にとどまった。また、令和4年9月28日より、献血カードのアプリを導入した。これは、献血カード情報をスマートフォンなどに連携させ、献血予約や問診回答が事前に行えるなどのメリットがある。より多くの献血者へ利用していただくため学校や事業所へのチラシ配布、ポスター提示などを積極的に行った。

(2) 輸血用血液製剤の供給について

- ア 県内医療機関への血液製剤の供給は、赤血球製剤52,297単位、血漿製剤13,738単位、血小板製剤77,980単位、合計144,015単位となり前年度より5,222単位増加した。大館鹿角地域の医療機関には、広域事業運営体制により青森県赤十字血液センター弘前出張所から血液製剤を供給しており、内訳としては赤血球製剤4,256単位、血漿製剤304単位、血小板製剤6,295単位、合計10,855単位となる。
- イ 令和4年度における2つの重点項目のうち、医療機関からの輸血用血液製剤Web受注率については4月から全国目標である80%を超え令和4年度の3月は94%となり目標を大きく上回った。
- ウ もう1つの重点項目である定時配送率については、医療機関に協力を依頼した結果、8月に83.3%と目標の80%を超えた。しかし、冬期間は雪の影響で配送時間を要することもあって臨時配送便が増えたため年度累計では78.9%で目標の80%を僅かに下回った。
- エ 医療機関向けの会議は、コロナ禍の影響により昨年同様にリモートによる開催となった。9月に開催した輸血管理実務担当者会議には30施設を超える参加があった。コロナ禍が去っても有用な情報交換手法として継続する予定としている。

2. 令和4年度実績

(1) 令和4年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	586	745	159	127.1%
400 mL 献 血	23,384	24,091	707	103.0%
成 分 献 血	13,187	13,565	378	102.9%
合 計	37,157	38,401	1,244	103.3%
献 血 量 (L)	16,661.0	17,976.0	1,315.0	107.9%

(2) 令和4年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和4年度実績	令和3年度実績	増 減	前 年 度 比
200 mL 献 血	745	816	△ 71	91.3%
400 mL 献 血	24,091	24,875	△ 784	96.8%
成 分 献 血	13,565	14,449	△ 884	93.9%
合 計	38,401	40,140	△ 1,739	95.7%
献 血 量 (L)	17,976.0	17,052.7	923.3	105.4%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分	月												合計	比率	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
申込者数	総数	3,461	3,635	3,546	3,664	3,483	3,449	3,529	3,494	3,633	3,426	3,379	3,476	42,175	100.0%
	男	2,372	2,516	2,416	2,404	2,434	2,257	2,374	2,448	2,438	2,467	2,313	2,377	28,816	68.3%
	女	1,089	1,119	1,130	1,260	1,049	1,192	1,155	1,046	1,046	1,195	959	1,066	13,359	31.7%
献血者数	総数	3,101	3,316	3,201	3,242	3,189	3,120	3,224	3,231	3,337	3,174	3,119	3,147	38,401	91.1%
	男	2,230	2,403	2,290	2,285	2,339	2,161	2,275	2,353	2,345	2,381	2,208	2,263	27,533	65.3%
	女	871	913	911	957	850	959	949	878	992	793	911	884	10,868	25.8%
献血できなかった人数	総数	360	319	345	422	294	329	305	263	296	252	260	329	3,774	8.9%
	男	142	113	126	119	95	96	99	95	93	86	105	114	1,283	3.0%
	女	218	206	219	303	199	233	206	168	203	166	155	215	2,491	5.9%
内	総数	180	112	172	202	147	154	117	119	140	105	127	164	1,739	46.0%
	男	40	41	38	43	25	22	19	26	28	19	36	42	379	10.0%
	女	140	71	134	159	122	132	98	93	112	86	91	122	1,360	36.0%
その他	総数	180	207	173	220	147	175	188	144	156	147	133	165	2,035	54.0%
	男	102	72	88	76	70	74	80	69	65	67	69	72	904	24.0%
	女	78	135	85	144	77	101	108	75	91	80	64	93	1,131	30.0%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数は献血者数・献血できなかった人数の割合、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目	合計			全血献血				成分献血				献血量(L)				
	目標数	申込者数	献血者数	目標数	申込者数	献血者数	目標達成率	目標数	申込者数	献血者数	目標達成率	目標数	申込者数	献血量	目標達成率	
保健所																
大館保健所	2,510	2,820	2,537	2,510	2,820	96	101.1%	2,441	2,537	2,537	101.1%	0	0	995.6	100.4%	
北秋田保健所	807	902	822	807	902	23	101.9%	799	822	822	101.9%	0	0	324.2	101.6%	
能代保健所	1,618	1,774	1,619	1,618	1,774	31	100.1%	1,588	1,619	1,619	100.1%	0	0	641.4	100.4%	
秋田中央保健所	1,108	1,204	1,111	1,108	1,204	10	100.3%	1,101	1,111	1,111	100.3%	0	0	442.4	101.1%	
由利本荘保健所	1,914	2,075	1,885	1,914	2,075	53	98.5%	1,832	1,885	1,885	98.5%	0	0	743.4	98.3%	
大仙保健所	2,553	2,832	2,584	2,553	2,832	31	101.2%	2,553	2,584	2,584	101.2%	0	0	1,027.4	101.9%	
横手保健所	2,131	2,513	2,263	2,131	2,513	87	106.2%	2,176	2,263	2,263	106.2%	0	0	887.8	105.5%	
湯沢保健所	1,446	1,693	1,524	1,446	1,693	68	105.4%	1,456	1,524	1,524	105.4%	0	0	596.0	104.3%	
秋田市保健所	23,070	26,362	24,056	9,883	11,283	346	104.3%	10,145	10,491	10,491	106.2%	13,187	15,079	12,317.8	107.6%	
合計	37,157	42,175	38,401	23,970	27,096	745	103.3%	24,091	24,836	24,836	103.6%	13,187	15,079	17,976.0	105.7%	

※秋田市保健所には、固定施設の献血パーク るぷ及びアトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

性別 年齢	献 血 者 数			男 性			女 性								
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
16 ~ 19歳	569	793	98	1,460	3.8%	97	488	75	660	2.4%	472	305	23	800	7.4%
20 ~ 29歳	160	3,699	1,332	5,191	13.5%	10	2,567	899	3,476	12.6%	150	1,132	433	1,715	15.8%
30 ~ 39歳	6	4,083	2,205	6,294	16.4%	0	2,938	1,498	4,436	16.1%	6	1,145	707	1,858	17.1%
40 ~ 49歳	6	6,088	3,611	9,705	25.3%	0	4,420	2,730	7,150	26.0%	6	1,668	881	2,555	23.5%
50 ~ 59歳	4	6,426	4,155	10,585	27.6%	0	4,702	3,087	7,789	28.3%	4	1,724	1,068	2,796	25.7%
60 ~ 69歳	0	3,002	2,164	5,166	13.5%	0	2,232	1,790	4,022	14.6%	0	770	374	1,144	10.5%
計	745	24,091	13,565	38,401	100.0%	107	17,347	10,079	27,533	100.0%	638	6,744	3,486	10,868	100.0%

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

性別 職業	献 血 者 数			男 性			女 性								
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
公 務 員	26	5,246	2,256	7,528	19.6%	5	4,399	2,057	6,461	23.5%	21	847	199	1,067	9.8%
会 社 員	72	12,960	7,172	20,204	52.6%	3	9,841	5,683	15,527	56.4%	69	3,119	1,489	4,677	43.0%
高 校 生	466	216	26	708	1.8%	86	154	20	260	0.9%	380	62	6	448	4.1%
大 学 生	106	642	297	1,045	2.7%	8	316	208	532	1.9%	98	326	89	513	4.7%
そ の 他	75	5,027	3,814	8,916	23.2%	5	2,637	2,111	4,753	17.3%	70	2,390	1,703	4,163	38.3%
計	745	24,091	13,565	38,401	100.0%	107	17,347	10,079	27,533	100.0%	638	6,744	3,486	10,868	100.0%

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況（県内）

ア 令和4年度 供給計画及び実績

（単位：本）

区 分	計 画	実 績	差 異	計画実績比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,340	52,297	1,957	103.9%
血 漿 製 剤	12,100	13,738	1,638	113.5%
血 小 板 製 剤	71,800	77,980	6,180	108.6%
合 計	134,240	144,015	9,775	107.3%

（注）数値は200mL換算数である。

イ 令和4年度 供給実績前年度比較

（単位：本）

区 分	令和4年度実績	令和3年度実績	増 減	前年度比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	52,297	50,620	1,677	103.3%
血 漿 製 剤	13,738	11,093	2,645	123.8%
血 小 板 製 剤	77,980	77,080	900	101.2%
合 計	144,015	138,793	5,222	103.8%

（注）数値は200mL換算数である。

13. 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概 要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、全体の半数以上を被虐待児が占めている。他の入所理由としては、未婚や母の病気等によるものとなっている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和4年度に退所した措置児童8名のうち家庭復帰となった子どもは3名、里親家庭へ3名の子どもが委託された。

保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いでいる。令和2年度から秋田県より受託しているフォスタリング機関(里親養育包括支援)では、里親制度普及促進事業として里親制度を広く知っていただくため、秋田公立美術大学と共同でポスター展を県内各地(17箇所213日間)で開催した。里親トレーニング事業は4組の里親を対象に実施し、里親支援専門相談員を中心に入所児童の里親委託を推進し、アフターケアとして家庭訪問やSNSを用いて継続的な支援を行っている。令和4年度の新規里親登録数は26組37名であった。

地域に必要とされる施設を目指し、子育て支援事業の充実をはじめ、中・高生等の体験学習、看護大生・保育士・栄養士等の実習生やボランティア等の受け入れも当院の特色と捉え推進している。コロナ禍で活動を中止している育児サークル「愛あいクラブ」では手遊びをテーマにした動画を作成し、YouTubeチャンネルで公開中である。

現在地への移転新築(平成12年)から20年以上が経過し、各所に老朽化による不具合が発生していることから、必要に応じて随時補修工事を実施してきた。また、空調設備の整備や停電事故を防止するための配電設備更新工事を実施し、子どもたちが安全で快適な環境のもと生活できるよう環境整備に努めた。

2. 利用状況

(令和5年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位:人)

区 分	入 所 人 数			退 所 先 及 び 退 所 人 数				年度末 在所人数 (A-B)
	前年度からの 入所数	新規入所数	計(A)	家 庭	里 親	施 設 (当院を含む)	計(B)	
措 置	17	11	28	3	3	2	8	20
一時保護	1	13	14	13	0	0	13	1
計	18	24	42	16	3	2	21	21

(註) 一時保護から当院に措置となった児童数は3名である。但し、この人数は一時保護に含まない。

(2) 新規入所理由の状況

(単位:人)

区 分	虐待	父母の疾病	未婚	その他	計
措 置	5	1	5	0	11
一時保護	6	3	0	4	13
計	11	4	5	4	24

(註)「その他」の内容:兄弟の入院に保護者付添い

(3) 市町別在所状況

(単位:人)

鹿角市	大館市	能代市	男鹿市	秋田市	羽後町	大仙市	仙北市	横手市	その他	計
3	1	2	1	5	1	2	1	3	2	21

(註)「その他」の内容:千葉県1、岩手県1

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
前年度からの入所	22	30	25	18	18
入 所	36	12	27	24	24
退 所	28	17	34	23	21
年 度 末 人 数	30	25	18	19	21

(註) 一時保護児童数を含む。

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8：30～23：00	25件 内容：基本的な生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
シ ョ ー ト ス テ イ	1人
デ イ ケ ア	中止（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）
プ レ マ マ サ ロ ン	
育児サークル「愛あいクラブ」	

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
院 外 保 育	4月12日	秋 田 駅	4 人
お 花 見	4月18日	広 面 近 隣 公 園	全 員
こどもの日	5月5日	院 内	全 員
院 外 保 育	7月6日	大 森 山 動 物 園	4 人
七夕まつり	7月7日	院 内	全 員
院 外 保 育	7月14日	大 森 山 動 物 園	4 人
院 外 保 育	7月15日	大 森 山 動 物 園	5 人
お 月 見	9月10日	院 内	全 員
院 外 保 育	9月13日	ピノキオランド	4 人
院 外 保 育	9月14日	小 泉 湯 公 園	5 人
院 外 保 育	9月14日	こ ま ち 公 園	4 人
運 動 会	10月3日	院 内	全 員
ハロウィン	10月31日	院 内	全 員
院 外 保 育	11月7日	男 鹿 水 族 館	15 人
クリスマス会	12月23日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月3日	院 内	全 員
ひなまつり	3月3日	院 内	全 員

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	0人
団 体	3団体（延人数79人）

7. 苦情件数

件 数
1件

(註) 運動会行事の際、音響機器のハウリングに対して近隣住民から苦情があった。

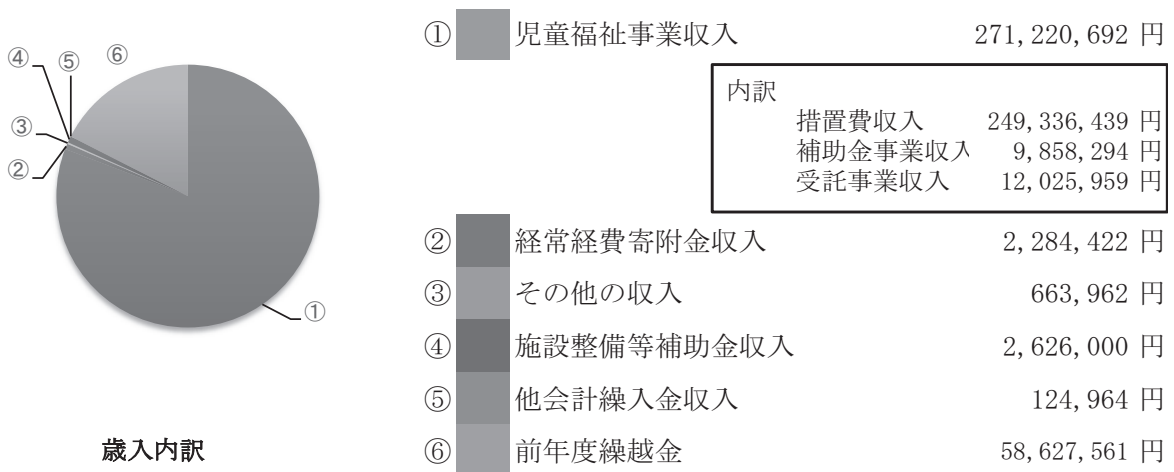
8. 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数(人)	対 象
6月12日	15	一 般
6月12日	8	一 般
6月12日	6	一 般
合 計	29	

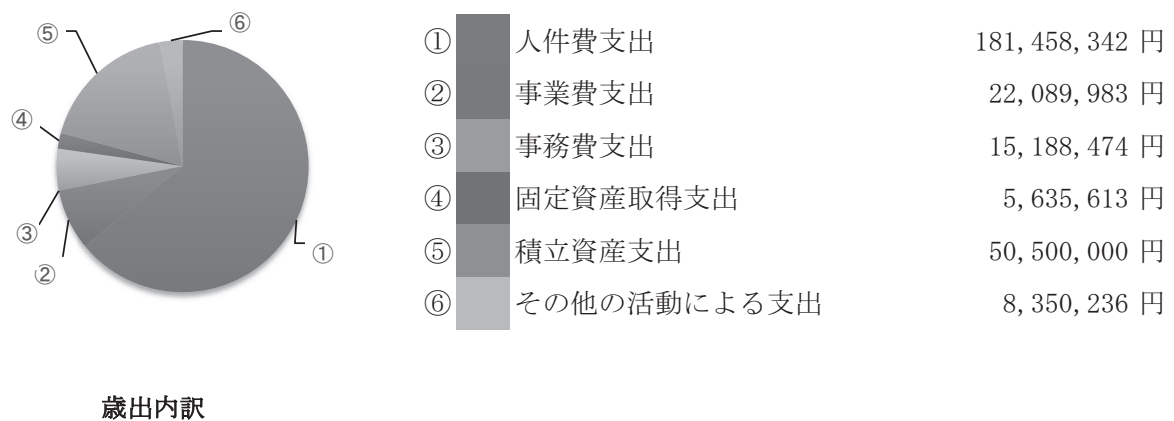
令和4年度秋田赤十字乳児院
歳入歳出決算概要

歳入額	335,547,601円
歳出額	283,222,648円
収支残	52,324,953円

歳入 335,547,601円



歳出 283,222,648円



14. 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和5年3月31日現在)

1. 沿革

明治20年(1887)11月3日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年(1896)7月1日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年(1952)10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2. 会員数(含:協力会員) 個人 157,490人
法人 664社

3. 評議員 29人

4. 役員

支部長 佐竹 敬久
副支部長 神部 秀行・穂積 志
本社理事・代議員 野口 良孝
本社代議員 三戸 俊彦・江畑 佳明
高橋 トモ子
支部監査委員 新谷 明弘・伊藤 新

5. 青少年赤十字

区分	加盟登録数	メンバー数
幼稚園・保育園	43 園	3,370人
小学校	97 校	18,326人
中学校	48 校	8,666人
高等学校	27 校	1,859人
計	215園(校)	32,221人

6. 赤十字奉仕団

区分	団数	団員数
地域	53団	12,885人
青年(学生)	6団	124人
特殊	7団	279人
計	66団	13,288人

7. 秋田県赤十字有功会員 個人 142人
法人 67社

8. 講習等普及活動

区分	講習回数	受講者数	指導員数
防災セミナー	17回	368人	24人
救急法	127回	3,064人	91人
健康生活支援	61回	1,702人	31人
水上安全法	20回	528人	26人
幼児安全法	28回	456人	34人
雪上安全法	1回	24人	1人
計	254回	6,142人	207人

9. 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業(資金援助)
救急法普及支援事業(ラオス)
青少年赤十字海外支援事業(バヌアツ)
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10. 災害救護

災害対策本部要員	23人	
救護班要員	9班	67人
血液供給要員	3人	
無線局(基地局含)	150MHz	33局
	400MHz	24局
救護車両	6台	
備蓄救援物資	毛布	2,070枚
	タオルケット	1,808枚
	緊急セット	1,374個
	安眠セット	721個

11. 医療事業(秋田赤十字病院)

総病床数	480床	
内訳	一般医療	344床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入院		127,480人
	1日平均	349.3人
外来		187,759人
	1日平均	775.9人

12. 血液事業(秋田県赤十字血液センター)

献血ルーム	2施設(血液センター、アトリエ献血ルーム)
移動採血車	3台
献血者数(延人数)	供給本数(200mL献血由来換算)
200mL献血 745人	赤血球製剤 52,297本
400mL献血 24,091人	血漿製剤 13,738本
成分献血 13,565人	血小板製剤 77,980本
計 38,401人	計 144,015本

13. 社会福祉施設(秋田赤十字乳児院)

定員	30人
年度末在所児童数	21人

14. 職員数(嘱託・臨時職員等は除く、令和5年4月1日現在)

日本赤十字社秋田県支部	8人
秋田赤十字病院	761人
秋田県赤十字血液センター	44人
秋田赤十字乳児院	21人
計	838人

15. 会計(令和5年度当初予算)

支部	187,821千円	
病院	収益的収入	15,866,865千円
	収益的支出	16,383,924千円
乳児院	歳入	362,944千円
	歳出	298,251千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp>

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通2丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案内図>



